

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 常翔学園

(2) 大学名

摂南大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒573-0101

大阪府枚方市長尾峠町45番1号 (〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17番8号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クレ テツオ) 久禮 哲郎 (平成26年1月)		
学長	(ヤギ キイチロウ) 八木 紀一郎 (平成27年11月)	(オギタ キョカズ) 荻田 喜代一 (令和元年11月)	任期満了に伴う交代。 令和元年11月1日 (2)
学部長	(クボ ヤスユキ) 久保 康之 (令和2年4月)		
学科長等	(テラバヤシ サトシ) 寺林 敏 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」) でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合 (令和2年度までの5年間) ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学 (大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称 (学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 農業生産学科 学士 (農学)	農学関係	年 4	人 80	年次 人 -	人 320	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止 (予定)」と記載してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学 定員超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学 定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 80 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.98倍	-	
志願者数	1,614 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	1,458 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	598 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	79 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.98										

- (注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	人 79 [-] (-)	人 - [-] (-)	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()		
2年次	/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()		
3年次			/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	
4年次					/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()
計			人 79 [-] (-)	人 [] ()			人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()

・令和2年5月1日 公表

(注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	79人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0人		0人	0人	

(注) ・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下 (〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{79} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<農学部 農業生産学科>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目 共通群	農学概論	1前	2			5				兼10	
	農学基礎演習	1通	1			3	1	1	1		
	グローバル農業演習	2通		2		1				兼1	
	スマート農業演習	3通		1		2					
	農業気象学	3前		2						兼1	
	森林生態学	4前		2						兼1	
	農業知的財産	4前		2						兼2	
	小計(7科目)	—	3	9	0	6	1	1	1	0	兼15
	専門コア群 基礎系	化学	1前		2						兼1
		化学演習	1前		1						兼1
生物学		1後		2				1			
生物学演習		1後		1				1			
物理学		1後		2						兼1	
生物統計学		2前		2		1					
小計(6科目)		—	0	10	0	1	0	1	0	0	兼2
農業植物・栽培系	植物遺伝学	1後		2				1			
	作物機能形態学	1後		2		1					
	植物生理学	1後		2				1			
	植物育種学	2前		2		1					
	作物学	2前		2		1					
	野菜花卉園芸学	2前		2		1					
	植物育種方法論	2後		2		1					
	資源作物学	2後		2						兼1	
	果樹園芸学	2後		2				1			
	耕地生態学	3前		2		1					
	施設園芸学	3前		2		1					
小計(11科目)	—	6	16	0	4	0	2	0	0	兼1	
農業生物・環境系	植物病理学	2前		2		1					
	応用昆虫学	2前		2		1					
	土壌学	2前		2		1					
	植物感染機構学	2後		2		1					
	昆虫生理生態学	2後		2		1					
	植物無機栄養学	2後		2		1					
	多様性生物学	3前		2				1			
	土壌微生物学	3前		2		1					
	植物病害管理学	3後		2				1			
	害虫防除論	3後		2				1			
	雑草管理学	3後		2						兼1	
小計(11科目)	—	6	16	0	3	0	2	0	0	兼1	
実験・実習系	化学実験	1前		2		3		2	3		
	生物学実験	1後		2		3	1	1	3		
	物理学実験	3後		2						兼1	
	農場実習	2後		1		4	1	1	1		
	農業生産学基礎実験 I	2前		2		3		3	2		
	農業生産学基礎実験 II	2後		2		3		3	2		
	農業生産学専門実験	3前		2		3		3	2		
	農業生産学実習 I	2前		2		4	1	1	1		
	農業生産学実習 II	2後		2		4	1	1	1		
	小計(9科目)	—	14	3	0	7	1	4	3	0	兼1
専門総合群 応用生物系	分子からみた植物の働き	3前		2						兼1	
	ゲノムと生命	3前		2						兼1	
	生物の多様性と進化	3前		2						兼4	
	動物とくらし	3後		2						兼1	
	微生物とくらし	3後		2						兼1	
	海洋生物とくらし	4前		2						兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目 共通群	農学概論	1前	2			5				兼10	
	農学基礎演習	1通	1			3	1	1	1		
	グローバル農業演習	2通		2		1				兼1	
	スマート農業演習	3通		1		2					
	農業気象学	3前		2						兼1	
	森林生態学	4前		2						兼1	
	農業知的財産	4前		2						兼2	
	小計(7科目)	—	3	9	0	6	1	1	1	0	兼15
	専門コア群 基礎系	化学	1前		2						兼1
		化学演習	1前		1						兼1
生物学		1後		2				1			
生物学演習		1後		1				1			
物理学		1後		2						兼1	
生物統計学		2前		2		1					
小計(6科目)		—	0	10	0	1	0	1	0	0	兼2
農業植物・栽培系	植物遺伝学	1後		2				1			
	作物機能形態学	1後		2		1					
	植物生理学	1後		2				1			
	植物育種学	2前		2		1					
	作物学	2前		2		1					
	野菜花卉園芸学	2前		2		1					
	植物育種方法論	2後		2		1					
	資源作物学	2後		2						兼1	
	果樹園芸学	2後		2				1			
	耕地生態学	3前		2		1					
	施設園芸学	3前		2		1					
小計(11科目)	—	6	16	0	4	0	2	0	0	兼1	
農業生物・環境系	植物病理学	2前		2		1					
	応用昆虫学	2前		2		1					
	土壌学	2前		2		1					
	植物感染機構学	2後		2		1					
	昆虫生理生態学	2後		2		1					
	植物無機栄養学	2後		2		1					
	多様性生物学	3前		2				1			
	土壌微生物学	3前		2		1					
	植物病害管理学	3後		2				1			
	害虫防除論	3後		2				1			
	雑草管理学	3後		2						兼1	
小計(11科目)	—	6	16	0	3	0	2	0	0	兼1	
実験・実習系	化学実験	1前		2		3		2	3		
	生物学実験	1後		2		3	1	1	3		
	物理学実験	3後		2						兼1	
	農場実習	2後		1		4	1	1	1		
	農業生産学基礎実験 I	2前		2		3		3	2		
	農業生産学基礎実験 II	2後		2		3		3	2		
	農業生産学専門実験	3前		2		3		3	2		
	農業生産学実習 I	2前		2		4	1	1	1		
	農業生産学実習 II	2後		2		4	1	1	1		
	小計(9科目)	—	14	3	0	7	1	4	3	0	兼1
専門総合群 応用生物系	分子からみた植物の働き	3前		2						兼1	
	ゲノムと生命	3前		2						兼1	
	生物の多様性と進化	3前		2						兼4	
	動物とくらし	3後		2						兼1	
	微生物とくらし	3後		2						兼1	
	海洋生物とくらし	4前		2						兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	食品栄養系	食品学入門	3前	2								兼1	
		食品の安全性	3前	2									兼1
		旬の食材と薬膳	3前	2									兼1
		栄養とスポーツ	3後	2									兼1
		栄養と健康	3後	2									兼1
		病気の予防と食生活	4前	2									兼1
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
	食農ビジネス系	食と農の倫理を学ぶ	3前	2									兼2
		食と農の経済を学ぶ	3前	2									兼1
		食と農の共生を考える	3後	2									兼1
		フードシステムを学ぶ	3後	2									兼1
		農業の多様性を学ぶ	3後	2									兼1
		食と農の歴史を学ぶ	4前	2									兼1
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
	ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	1前	1			7	1	4				
農業生産学研究		3後	1			7	1	4					
卒業研究		4通	6			7	1	4					
小計(3科目)		—	8	0	0	7	1	4	0	0	0	0	
教養科目	共通系	大学教養入門	1前	2					1				兼5
		小計(1科目)	—	2	0	0	0	0	1	0	0	0	兼5
	語学系	日本語表現法	1前	1									兼1
		基礎英語 I a	1前	1									兼1
		基礎英語 I b	1前	1									兼1
		基礎英語 II a	1後	1									兼1
		基礎英語 II b	1後	1									兼1
		実践英語 I	2前	1									兼1
		実践英語 II	2後	1									兼1
		英語基礎会話a	3前	1									兼1
		英語基礎会話b	3後	1									兼1
		中国語 I	2前	1									兼1
		中国語 II	2後	1									兼1
		海外語学研修	2前	2									兼1
	小計(12科目)	—	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	兼7
情報系	情報リテラシー I	1前	1									兼1	
	情報リテラシー II	1後	1									兼1	
	小計(2科目)	—	1	1	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
体育系	スポーツ科学 I	1前	1									兼4	
	スポーツ科学 II	1後	1									兼4	
	小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼4	
人文系	心理学	1前	2									兼1	
	倫理学	1前	2									兼1	
	哲学から学ぶ	1前	2									兼1	
	地誌学	1後	2									兼1	
	人文地理学	1後	2									兼1	
	文学から学ぶ	1後	2									兼1	
	文化人類学	2前	2									兼1	
	女性学	2前	2									兼1	
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6	
社会系	ボランティア活動論	1前	2									兼1	
	経済学入門	1前	2									兼1	
	日本の政治	1前	2									兼1	
	法学入門	1後	2									兼1	
	経営学入門	1後	2									兼1	
	観光学	1後	2									兼1	
	日本国憲法	2前	2									兼1	
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	兼7
自然系	教養数学	1前	2									兼1	
	生命倫理	1後	2									兼1	
	生物と環境	2前	2									兼1	
	地学	3前	2									兼1	
	地学実験	3前	2									兼2	
	小計(5科目)	—	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	食品栄養系	食品学入門	3前	2									兼1
		食品の安全性	3前	2									兼1
		旬の食材と薬膳	3前	2									兼1
		栄養とスポーツ	3後	2									兼1
		栄養と健康	3後	2									兼1
		病気の予防と食生活	4前	2									兼1
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
	食農ビジネス系	食と農の倫理を学ぶ	3前	2									兼2
		食と農の経済を学ぶ	3前	2									兼1
		食と農の共生を考える	3後	2									兼1
		フードシステムを学ぶ	3後	2									兼1
		農業の多様性を学ぶ	3後	2									兼1
		食と農の歴史を学ぶ	4前	2									兼1
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
	ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	1前	1			7	1	4				
農業生産学研究		3後	1			7	1	4					
卒業研究		4通	6			7	1	4					
小計(3科目)		—	8	0	0	7	1	4	0	0	0	0	
教養科目	共通系	大学教養入門	1前	2					1				兼5
		小計(1科目)	—	2	0	0	0	0	1	0	0	0	兼5
	語学系	日本語表現法	1前	1									兼2
		基礎英語 I a	1前	1									兼2
		基礎英語 I b	1前	1									兼2
		基礎英語 II a	1後	1									兼2
		基礎英語 II b	1後	1									兼2
		実践英語 I	2前	1									兼1
		実践英語 II	2後	1									兼1
		英語基礎会話a	3前	1									兼1
		英語基礎会話b	3後	1									兼1
		中国語 I	2前	1									兼1
		中国語 II	2後	1									兼1
		海外語学研修	1・2・3・4通	2									兼1
	小計(12科目)	—	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	兼10
情報系	情報リテラシー I	1前	1									兼1	
	情報リテラシー II	1後	1									兼1	
	小計(2科目)	—	1	1	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
体育系	スポーツ科学 I	1前	1									兼2	
	スポーツ科学 II	1後	1									兼2	
	小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
人文系	心理学	1前	2									兼1	
	倫理学	1前	2									兼1	
	哲学から学ぶ	1前	2									兼1	
	地誌学	1後	2									兼1	
	人文地理学	1後	2									兼1	
	文学から学ぶ	1後	2									兼1	
	文化人類学	2前	2									兼1	
	女性学	2前	2									兼1	
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	兼8	
社会系	ボランティア活動論	1前	2									兼1	
	経済学入門	1前	2									兼1	
	日本の政治	1前	2									兼1	
	法学入門	1後	2									兼1	
	経営学入門	1後	2									兼1	
	観光学	1後	2									兼1	
	日本国憲法	2前	2									兼1	
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	兼7
自然系	教養数学	1前	2									兼2	
	生命倫理	1後	2									兼1	
	生物と環境	2前	2									兼1	
	地学	3前	2									兼1	
	地学実験	3前	2									兼2	
	小計(5科目)	—	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	兼7

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
教養科目	キャリアデザイン I	1前	1								兼1
	キャリアデザイン II	2後		1							兼1
	数的能力開発	2後		1							兼1
	インターンシップ	3通		2							兼1
	小計(4科目)	—	1	4	0	0	0	0	0	0	兼2
外国人留学生対象科目	日本事情F I	1・2・3・4前		2							兼1
	日本事情F II	1・2・3・4後		2							兼1
	日本語読解F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語読解F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語文法F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語文法F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語表現作文F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語表現作文F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語総合F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語総合F II	1・2・3・4後		1							兼1
	専門日本語F I	1・2・3・4前		1							兼1
	専門日本語F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語会話F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語会話F II	1・2・3・4後		1							兼1
	小計(14科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼4
帰国学生対象科目	日本事情R I	1・2・3・4前		2							兼1
	日本事情R II	1・2・3・4後		2							兼1
	日本語読解R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語文法R	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語表現作文R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語総合R	1・2・3・4後		1							兼1
	専門日本語R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語会話R	1・2・3・4後		1							兼1
	小計(8科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	兼4
教職課程の設置により開設する授業科目	職業指導 I	1・2・3・4前			2						兼1
	職業指導 II	1・2・3・4後			2						兼1
	理科教育法 I	2後			2						兼1
	理科教育法 II	3前			2						兼1
	理科教育法 III	3後			2						兼1
	理科教育法 IV	3後			2						兼1
	農業科教育法 I	3前			2						兼1
	農業科教育法 II	3後			2						兼1
	教育原理	2前又は後			2						兼1
	教師論	1前			2						兼1
	教育経営論	3前又は後			2						兼1
	教育社会学	3前又は後			2						兼1
	教育心理学	1前又は後			2						兼1
	特別支援教育論	3前又は後			2						兼1
	教育課程論	2前又は後			2						兼1
	道徳教育論	3前又は後			2						兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	1前又は後			2						兼1
	教育方法論	2前又は後			2						兼1
	生徒指導論(進路指導を含む)	2前又は後			2						兼1
	教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	3前又は後			2						兼1
	教育実習 I	3前又は後			1						兼5
	教育実習 II	4通			2						兼5
	教育実習 III	4通			4						兼5
	教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5
	地域連携教育活動 I	2前又は後			2						兼5
	地域連携教育活動 II	2前又は後			2						兼5
	小計(26科目)	—	0	0	53	0	0	0	0	0	兼9
	合計(154科目)	—	43	174	53	7	1	4	3	0	兼72

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
教養科目	キャリアデザイン I	1前	1								兼1
	キャリアデザイン II	2後		1							兼1
	数的能力開発	2後		1							兼1
	インターンシップ	3通		2							兼1
	小計(4科目)	—	1	4	0	0	0	0	0	0	兼2
外国人留学生対象科目	日本事情F I	1・2・3・4前		2							兼1
	日本事情F II	1・2・3・4後		2							兼1
	日本語読解F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語読解F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語文法F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語文法F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語表現作文F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語表現作文F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語総合F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語総合F II	1・2・3・4後		1							兼1
	専門日本語F I	1・2・3・4前		1							兼1
	専門日本語F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語会話F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語会話F II	1・2・3・4後		1							兼1
	小計(14科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼6
帰国学生対象科目	日本事情R I	1・2・3・4前		2							兼1
	日本事情R II	1・2・3・4後		2							兼1
	日本語読解R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語文法R	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語表現作文R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語総合R	1・2・3・4後		1							兼1
	専門日本語R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語会話R	1・2・3・4後		1							兼1
	小計(8科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	兼5
教職課程の設置により開設する授業科目	職業指導 I	1・2・3・4前			2						兼1
	職業指導 II	1・2・3・4後			2						兼1
	理科教育法 I	2後			2						兼1
	理科教育法 II	3前			2						兼1
	理科教育法 III	3後			2						兼1
	理科教育法 IV	3後			2						兼1
	農業科教育法 I	3前			2						兼1
	農業科教育法 II	3後			2						兼1
	教育原理	2前又は後			2						兼1
	教師論	1前			2						兼1
	教育経営論	3前又は後			2						兼1
	教育社会学	3前又は後			2						兼1
	教育心理学	1前又は後			2						兼1
	特別支援教育論	3前又は後			2						兼1
教育課程論	2前又は後			2						兼1	
道徳教育論	3前又は後			2						兼1	
特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	1前又は後			2						兼1	
教育方法論	2前又は後			2						兼1	
生徒指導論(進路指導を含む)	2前又は後			2						兼1	
教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	3前又は後			2						兼1	
教育実習 I	3前又は後			1						兼5	
教育実習 II	4通			2						兼5	
教育実習 III	4通			4						兼5	
教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5	
地域連携教育活動 I	2前又は後			2						兼5	
地域連携教育活動 II	2前又は後			2						兼5	
	小計(26科目)	—	0	0	53	0	0	0	0	0	兼9
	合計(154科目)	—	43	174	53	7	1	4	3	0	兼81

卒業要件及び履修方法
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、必修科目43単位、選択科目81単位以上の合計124単位以上修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。</p> <p>【履修方法】 1 専門科目の履修方法 必修科目37単位、選択科目61単位以上、合計98単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。 (1) 専門コア群の基礎系から6単位以上を修得。 (2) 専門コア群の農業植物・栽培系および農業生物・環境系から36単位以上(必修12単位を含む)を修得。 (3) 専門総合群から20単位以上(応用生物系、食品栄養系、食農ビジネス系から各4単位以上を含む)を修得。</p> <p>2 教養科目の履修方法 必修科目6単位、選択科目20単位以上、合計26単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。 (1) 語学系から6単位以上を修得。 (2) 人文系から2単位以上を修得。 (3) 社会系から2単位以上を修得。 (4) 自然系から4単位以上(必修2単位を含む)を修得。</p> <p>(履修科目の登録上の上限:48単位(年間))</p>

卒業要件及び履修方法
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、必修科目43単位、選択科目81単位以上の合計124単位以上修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。</p> <p>【履修方法】 1 専門科目の履修方法 必修科目37単位、選択科目61単位以上、合計98単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。 (1) 専門コア群の基礎系から6単位以上を修得。 (2) 専門コア群の農業植物・栽培系および農業生物・環境系から36単位以上(必修12単位を含む)を修得。 (3) 専門総合群から20単位以上(応用生物系、食品栄養系、食農ビジネス系から各4単位以上を含む)を修得。</p> <p>2 教養科目の履修方法 必修科目6単位、選択科目20単位以上、合計26単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。 (1) 語学系から6単位以上を修得。 (2) 人文系から2単位以上を修得。 (3) 社会系から2単位以上を修得。 (4) 自然系から4単位以上(必修2単位を含む)を修得。</p> <p>(履修科目の登録上の上限:48単位(年間))</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ② 授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・教養科目のうち、全学共通の科目①～③において一部内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> ①少人数教育推進のため、「日本語表現法」「基礎英語 I a」「基礎英語 I b」「基礎英語 II a」「基礎英語 II b」「教養数学」の兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ②広く学習機会を提供するため、「海外語学研修」の配当年次を「2前」から「1・2・3・4通」に変更。 ③学部単位を学科単位での開講に改編したことに伴い、「スポーツ科学 I」「スポーツ科学 II」の兼任・兼担の配置を「兼4」から「兼2」に変更。
--

(注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
22科目	106科目	26科目	154科目	22科目	106科目	26科目	154科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{154} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	【校舎敷地】 分筆による減少 (△0.72 ㎡)。 (2)		
	校舎敷地	133,444.11 133,444.83 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	133,444.11 133,444.83 ㎡			
	運動場用地	191,234.28 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	191,234.28 ㎡			
	小 計	324,678.39 324,679.11 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	324,678.39 324,679.11 ㎡			
	そ の 他	24,632.60 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	24,632.60 ㎡			
	合 計	349,310.99 349,311.71 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	349,310.99 349,311.71 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	登記による校舎等面積の変更 (△90.54 ㎡)。(2)			
	132,471.12 132,561.66 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	132,471.12 132,561.66 ㎡				
	(132,471.12) (132,561.66 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(132,471.12) (132,561.66 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 【講義室、演習室、実験実習室、 情報処理学習施設】 用途変更による増減。教育研究 活動に支障はない。(2) 【情報処理学習施設・語学学習 施設補助職員】サポート体制充 実のため変更。(2)		
	73 72 室	99 52 室	106 99 室	15 16 室 8 (補助職員 0人)	34 室 3 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		食品栄養学科の講師について は、2名で教員室1室を利用 助教・助手については、複数 人で助手室(3室)を利用		
	農学部 農業生産学科			13 室				
	農学部 応用生物科学科			13 室				
	農学部 食品栄養学科			16 室				
	農学部 食農ビジネス学科			12 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分 図書：525,861 515,847 冊 〔191,988 冊〕〔191,204 冊〕 新規購入による増。(2) 学術雑誌：3,911 3,282 種 〔2,782 種〕〔2,191 種〕 新規購入による増。(2) 視聴覚資料：11,304 12,222 点 旧式記憶媒体で再生不可能な資 料を廃棄したための減少。代替 資料を所蔵し教育研究活動に支 障はない。(2)
	農学部 農業生産学科	2,150 [250] (1,820 [220])	27 [11] 26 [10] (26 [10])	9 [9] (9 [9])	17 (17)	3,273	9	
	応用生物科学科	2,150 [250] (1,820 [220])	11 [6] (11 [6])	5 [5] (5 [5])	12 (12)	(3,197)	(0)	
	食品栄養学科	2,840 [240] (2,300 [200])	22 [7] 22 [5] (22 [5])	5 [5] (5 [5])	9 (9)	1,767 (1,765)	17 (17)	
	食農ビジネス学科	2,980 [280] (2,320 [220])	25 [8] 23 [6] (23 [6])	4 [4] (4 [4])	21 (21)	1,041 (1,041)	0 (0)	
	農学部/薬学部/看護学部	0 [0] (0 [0])	0 [0] (0 [0])	0 [0] (0 [0])	0 (0)	6,088 (6,088)	0 (0)	
	計	10,120 [1,020] (8,260 [860])	85 [32] 82 [27] (82 [27])	23 [23] (23 [23])	59 (59)	12,169 (12,091)	26 (17)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数			大学全体 【図書館面積】 倉庫増加および専用面積の見直しによる変更 (+61.40 m ²)。 (2) 【閲覧座席数】 改修工事に伴う配置変更による減少。利用上の支障なし。(2) 【収納可能冊数】 書架の増設による収納スペース増加[基礎計算を文科省学術情報基盤調査と同基準の25冊/段(90cm)で算出]。(2) 【体育館面積】 登記による面積の変更(△15.04 m ²)。(2)
	8,230.45 8,169.05 -m ²		1,163 1,176 席		635,945 639,170 冊			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					申請学部全体 図書購入費には、電子ジャーナルの利用料を含む
	7,401.43 7,416.47 -m ²		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	2,035千円	2,035千円	図書購入費	63,167千円	14,123千円	10,000千円
	共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	1,809,854千円	126,983千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	農業生産学科	1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—千円	—千円	
	応用生物科学科	1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—千円	—千円	
	食品栄養学科	1,680千円	1,530千円	1,530千円	1,530千円	—千円	—千円	
	食農ビジネス学科	1,350千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	摂南大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC学)のみのみ	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
薬学研究科 博士課程	4	4	—	16	—	0.62	0.50	—	平成24	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
医療薬学専攻	4	4	—	16	博士(薬学)	0.62	0.50	—	平成24		
理工学研究科 博士前期課程	2	34	—	68	—	0.74	0.67	—	平成元	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
社会開発工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.91	0.83	—	平成元		
生産開発工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.66	0.50	—	平成26		同上
生命科学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	0.65	0.70	—	平成26	同上	
理工学研究科 博士後期課程	3	4	—	12	—	0.33	0.75	—	平成20	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
創生工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	0.00	—	平成20		
生命科学専攻	3	2	—	6	博士(理学)	0.66	1.50	—	平成28		同上
経済経営学研究科 修士課程	2	10	—	20	—	0.05	0.10	—	平成26	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
経済学専攻	2	5	—	10	修士(経済学)	0.00	0.00	—	平成26		
経営学専攻	2	5	—	10	修士(経営学)	0.10	0.20	—	平成26		同上
法学研究科 修士課程	2	5	—	10	—	0.50	0.60	—	平成9	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
法律学専攻	2	5	—	10	修士(法学)	0.50	0.60	—	平成9		
国際言語文化研究科 修士課程	2	5	—	10	—	0.20	0.20	—	平成11	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
国際言語文化専攻	2	5	—	10	修士(文学)	0.20	0.20	—	平成11		
看護学研究科 修士課程	2	6	—	12	—	0.75	1.00	—	平成28	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
看護学専攻	2	6	—	12	修士(看護学)	0.75	1.00	—	平成28		
大学院全体	—	68	—	148	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	摂南大学										備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更期間(AC学のみ)	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			
理工学部	4	500	3年次30	2,060	—	1.02	1.03	—	昭和50	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
生命科学科	4	90	3年次5	370	学士(理学)	1.03	1.13	—	平成22			
住環境デザイン学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.00	0.94	—	平成22		同上	
建築学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.05	1.10	—	昭和50		同上	
機械工学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.01	1.00	—	昭和50		同上	
電気電子工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.04	1.06	—	昭和50		同上	
都市環境工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.01	0.94	—	平成22		同上	
外国語学部	4	220	3年次5	890	—	1.06	1.05	—	昭和57	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
外国語学科	4	220	3年次5	890	学士(文学)	1.06	1.05	—	昭和57			
経営学部	4	270	3年次8	1,096	—	1.07	1.05	—	昭和57	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
経営学科	4	170	3年次4	688	学士(経営学)	1.07	1.00	—	平成18			
経営情報学科	4	100	3年次4	408	学士(経営学)	1.09	1.14	—	昭和57		同上	
薬学部	6	220	—	1,320	—	1.03	1.05	—	平成18	大阪府枚方市長尾岬町45番1号		
薬学科(6年制)	6	220	—	1,320	学士(薬学)	1.03	1.05	—	平成18			
法学部	4	250	3年次5	1,010	—	1.04	1.05	—	昭和63	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
法律学科	4	250	3年次5	1,010	学士(法学)	1.04	1.05	—	昭和63			
経済学部	4	250	3年次4	1,008	—	1.05	1.08	—	平成22	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
経済学科	4	250	3年次4	1,008	学士(経済学)	1.05	1.08	—	平成22			
看護学部	4	100	—	400	—	1.03	1.10	—	平成24	大阪府枚方市長尾岬町45番1号		
看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.03	1.10	—	平成24			
<u>農学部</u>	4	340	—	340	—	0.95	0.95	令和2	令和2	大阪府枚方市長尾岬町45番1号	令和2年度学部設置	
<u>農業生産学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.98	0.98	令和2	令和2			
<u>応用生物科学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.96	0.96	令和2	令和2			同上
<u>食品栄養学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.90	0.90	令和2	令和2			同上
<u>食農ビジネス学科</u>	4	100	—	100	学士(農学)	0.97	0.97	令和2	令和2			同上
大学全体	—	2,150	3年次52	8,124	—	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	大阪工業大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更(AC学)のみの年度	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
工学研究科 博士前期課程	2	110	—	220	—	1.12	1.04	—	昭和40	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
建築・都市デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	0.88	0.83	—	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.20	1.16	—	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.23	1.06	—	平成29	同上	
工学研究科 博士後期課程	3	6	—	18	—	0.88	1.16	—	昭和42	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	平成29年度 学生募集停止
都市デザイン工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年度 学生募集停止
生体医工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成19	同上	平成29年度 学生募集停止
電気電子工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年度 学生募集停止
建築・都市デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.66	1.00	—	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	1.00	1.00	—	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	1.00	1.50	—	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士前期課程	2	30	—	60	—	1.18	1.13	—	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.18	1.13	—	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.16	0.00	—	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.16	0.00	—	平成29	同上	
情報科学研究科 博士前期課程	2	40	—	80	—	1.02	1.22	—	平成12	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	
情報科学専攻	2	40	—	80	修士(情報学)	1.02	1.22	—	平成12	同上	
情報科学研究科 博士後期課程						0.00	0.00		平成14	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	
情報科学専攻	3	5	—	15	博士(情報学)	0.00	0.00	—	平成14	同上	
知的財産研究科 専門職学位課程	2	30	—	60	—	1.11	1.16	—	平成17	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
知的財産専攻	2	30	—	60	知的財産修士(専門職)	1.11	1.16	—	平成17	同上	
大学院全体	—	223	—	459	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	大阪工業大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC学のみ)	開設年度	所在地	
工学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
都市デザイン工学科	4	900	3年次40	3,680	—	1.01	1.07	—	昭和24	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	平成29年度定員変更90→100(+10)
空間デザイン学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.01	1.05	—	昭和24	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止
建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18	同上	平成29年度定員変更140→150(+10)
機械工学科	4	150	3年次5	610	学士(工学)	1.02	0.99	—	昭和24	同上	平成29年度定員変更130→140(+10)
ロボット工学科	4	140	3年次5	570	学士(工学)	0.98	1.07	—	昭和25	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止
電気電子システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成22	同上	平成29年度定員変更115→125(+10)
電子情報システム工学科	4	125	3年次5	510	学士(工学)	1.01	1.12	—	昭和24	同上	平成29年度定員変更100→110(+10)
応用化学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.05	1.19	—	昭和34	同上	平成29年度定員変更120→130(+10)
環境工学科	4	130	3年次5	530	学士(工学)	0.99	1.02	—	昭和33	同上	平成29年度定員変更70→75(+5)
生命工学科	4	75	3年次5	310	学士(工学)	1.03	1.10	—	平成18	同上	平成29年度定員変更65→70(+5)
ロボティクス&デザイン工学部	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.00	1.08	—	平成22	同上	平成29年度学部設置
ロボット工学科	4	280	3年次15	1,150	—	1.04	1.12	平成29	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
システムデザイン工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.02	1.08	平成29	平成29	同上	
空間デザイン学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.07	1.14	平成29	平成29	同上	
情報科学部	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.03	1.14	平成29	平成29	同上	
情報知能学科	4	420	3年次20	1,720	—	1.00	1.06	—	平成8	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	平成29年度定員変更95→105(+10)
情報システム学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.97	1.07	—	平成8	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
情報メディア学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.98	1.04	—	平成8	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
ネットワークデザイン学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.02	1.06	—	平成14	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
知的財産学部	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.02	1.08	—	平成19	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
知的財産学科	4	140	3年次10	580	—	1.06	1.08	—	平成15	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
知的財産学科	4	140	3年次10	580	学士(知的財産学)	1.06	1.08	—	平成15	同上	
大学全体	—	1,740	3年次85	7,130	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	広島国際大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更(AC学)のみの年度	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
看護学研究科 博士前期課程	2	10	—	20	—	0.00	0.00	—	平成15	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
看護学専攻	2	10	—	20	修士 (看護学)	0.00	0.00	—	平成15		
看護学研究科 博士後期課程	3	3	—	9	—	0.00	0.00	—	平成24	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.00	0.00	—	平成24		
医療・福祉科学研究科 博士前期課程	2	10	—	20	—	1.30	1.30	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療工学専攻	2	10	—	20	修士 (医療工学)	1.30	1.30	—	平成21		
医療・福祉科学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.66	0.00	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療工学専攻	3	2	—	6	博士 (医療工学)	0.66	0.00	—	平成21		
医療・福祉科学研究科 修士課程	2	10	—	20	—	0.30	0.30	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療福祉学専攻	2	5	—	10	修士 (医療福祉学)	0.30	0.20	—	平成21		
医療経営学専攻	2	5	—	10	修士 (医療経営学)	0.30	0.40	—	平成21	同上	
心理科学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.00	0.00	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
臨床心理学専攻	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.00	0.00	—	平成21		
心理科学研究科 専門職学位課程	2	20	—	40	—	0.65	0.60	—	平成21	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
実践臨床心理学専攻	2	20	—	40	臨床心理修士 (専門職)	0.65	0.60	—	平成21		
薬学研究科 博士課程	4	2	—	8	—	0.62	0.00	—	平成24	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
医療薬学専攻	4	2	—	8	博士 (薬学)	0.62	0.00	—	平成24		
大学院全体	—	59	—	129	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	広島国際大学										備考
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
保健医療学部	4	220	—	820	—	1.05	1.07	—	平成10	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
診療放射線学科	4	70	—	280	学士 (診療放射線学)	1.11	1.18	—	平成10		
医療技術学科 臨床工学専攻 臨床検査学専攻	4	100	—	490	学士 (臨床工学) (臨床検査学)	0.99	0.93	令和2	平成25	同上	令和2年度定員変更 130→100(-30)
救急救命学科	4	50	—	50	学士 (救急救命学)	1.22	1.22	令和2	令和2	同上	令和2年度学科設置
総合リハビリテーション学部	4	180	—	660	—	1.07	1.06	—	平成25	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻 言語聴覚療法専攻 義肢装具学専攻	4	180	—	570	学士 (理学療法) (作業療法) (言語聴覚療法) (義肢装具学)	1.12	1.06	令和2	平成25		令和2年度定員変更 130→180(+50)
リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻	4	—	—	90	学士 (義肢装具学)	—	—	—	平成25	同上	令和2年度学生募集停止
医療福祉学部	4	—	3年次 10	320	—	—	—	—	平成10	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻	4	—	3年次 10	320	学士 (医療福祉学)	—	—	—	平成10		令和4年度3年次編入学 募集停止
医療経営学部	4	—	—	270	—	—	—	—	平成23	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
医療経営学科	4	—	—	270	学士 (医療経営学)	—	—	—	平成23		
心理科学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成13	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	平成27年度学生募集停止
臨床心理学科	4	—	—	—	学士 (臨床心理学)	—	—	—	平成13		平成29年度3年次編入学 募集停止
心理学部	4	—	3年次 10	290	—	—	—	—	平成27	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
心理学科	4	—	3年次 10	290	学士 (心理学)	—	—	—	平成27		令和4年度3年次編入学 募集停止
看護学部	4	120	3年次 10	500	—	1.05	1.07	—	平成15	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	
看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.05	1.07	—	平成15		
薬学部	6	120	—	720	—	0.84	0.98	—	平成18	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	
薬学科(6年制)	6	120	—	720	学士 (薬学)	0.84	0.98	—	平成18		
医療栄養学部	4	—	—	180	—	—	—	—	平成26	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	令和2年度学生募集停止
医療栄養学科	4	—	—	180	学士 (医療栄養学)	—	—	—	平成26		

大学の名称	広島国際大学										備考
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
<u>健康科学部</u>	4	350	—	350	—	0.76	0.76	令和2	令和2		令和2年度学部設置
<u>医療福祉学科</u> <u>医療福祉学専攻</u> <u>介護福祉学専攻</u> <u>保育福祉学専攻</u>	4	100	—	100	学士 (医療福祉学)	0.49	0.49	令和2	令和2	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
<u>医療経営学科</u>	4	90	—	90	学士 (医療経営学)	0.83	0.83	令和2	令和2	同上	
<u>心理学科</u>	4	100	—	100	学士 (心理学)	0.83	0.83	令和2	令和2	同上	
<u>医療栄養学科</u>	4	60	—	60	学士 (医療栄養学)	1.01	1.01	令和2	令和2	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
<u>健康スポーツ学部</u>	4	70	—	70	—	1.08	1.08	令和2	令和2	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	令和2年度学部設置
<u>健康スポーツ学科</u>	4	70	—	70	学士 (健康スポーツ学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
大学全体	—	1,060	3年次 30	4,180	—	—	—	—	—	—	—

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・ 本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引(令和3年度開設用)」と同じです。
 - ・ 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
認可時 (令和元年)	<p>・将来において、留学生を受け入れる際には、日本語能力や経費支弁能力の確認、在籍管理、入学後の履修指導や生活指導などに係る適切な体制を構築すること。(農業生産学科、応用生物科学科、食品栄養学科)</p>	<p>遵守事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人留学生の日本語能力の確認については、本大学入試部にて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・出願時、出願書類（日本語）にて志望理由、入学後の学修計画、卒業後の進路目標を記載させている。また、4技能のレベルを「日本語能力認定書（本大学所定様式）」にて、日本語講師等に確認している。 ・日本語で学科試験を課すほか、面接にて日本語能力を確認している。 ○経費支弁能力については、入学後に生活状況調査票にて経済状況の確認を行ったうえで、必要に応じて各種奨学金の紹介を行っている。 ○外国人留学生の受入管理については、本大学国際交流センターにて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍管理は、同センター事務職員が毎月1回、在籍確認簿に署名をさせ、修学に係る相談及びアドバイス等を行っている。 ・入学後の履修指導・生活指導は、毎年1回、事前に留学生に生活状況調査票（卒業後の進路希望の有無、通学方法、経済状況、アルバイトの有無等）の作成に加え、学業成績表、学内奨学金申請書等を提出させたいうで、同センター運営委員（教員）及び事務職員が面接を行い、併せて日本語能力の状況確認を行っている。 	履行済	該当なし
	<p>・将来において、留学生を受け入れる際には、日本語能力や経費支弁能力の確認、在籍管理、入学後の履修指導や生活指導などに係る適切な体制を構築すること。また、外国人留学生入試で受験生に課す試験科目は、設置の趣旨と必要性の書類では「日本語、数学（予定）」だが、審査意見への対応を記載した書類では、「日本語、生物（予定）」と記載されているため、記載内容を整合すること。(食農ビジネス学科)</p>	<p>遵守事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人留学生の日本語能力の確認については、本大学入試部にて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・出願時、出願書類（日本語）にて志望理由、入学後の学修計画、卒業後の進路目標を記載させている。また、4技能のレベルを「日本語能力認定書（本大学所定様式）」にて、日本語講師等に確認している。 ・日本語で学科試験を課すほか、面接にて日本語能力を確認している。 ○経費支弁能力については、入学後に生活状況調査票にて経済状況の確認を行ったうえで、必要に応じて各種奨学金の紹介を行っている。 ○外国人留学生の受入管理については、国際交流センターにて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍管理は、同センター事務職員が毎月1回、在籍確認簿に署名をさせ、修学に係る相談及びアドバイス等を行っている。 ・入学後の履修指導・生活指導は、毎年1回、事前に留学生に生活状況調査票（卒業後の進路希望の有無・通学方法・経済状況・アルバイトの有無等）の作成に加え、学業成績表・学内奨学金申請書等を提出させたいうで、同センター運営委員（教員）及び事務職員が面接を行い、併せて日本語能力の状況確認を行っている。 <p>また、当該入試における受験科目については、設置の趣旨と必要性の書類に記載のとおり、「日本語、数学」で周知を行っている。</p>	履行済	該当なし
	<p>・専門学科・総合学科推薦入試において、アドミッション・ポリシーに掲げる化学、数学、国語の基礎知識を身に付</p>	<p>助言事項</p> <p>アドミッション・ポリシーは、各学部・学科ごとに定めており、入試ガイド、入試要項、AO入試リーフレット並びに本大学ホームページに掲載するとともに、高等学校・予備校・進学相談会等での学生募集活動において、広く学内外に周知している。</p> <p>そのうえで、入学志願者に対し当該入試の出願資格、</p>	履行済	該当なし

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画																																							
	<p>けていることについては、「出身学校の調査書」等により総合的に判断するとしていることについて、入学志願者に明確に示すことが望ましい。(食品栄養学科)</p>	<p>選考方法等として、入試要項、入試ガイド等の各種印刷物および本大学ホームページにて周知を行っている。</p>																																								
	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(農業生産学科、食品栄養学科、食農ビジネス学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>学校法人常翔学園就業規則において定年退職年齢を満64歳と定めている。64歳を超える者に対しては、「学校法人常翔学園 特任教員規定」により、満70歳を超えない期間まで特任教員(専任教員)として採用することができることから、本規定を適用し対応する。</p> <p>当該学科の教員組織の将来構想は、以下の方針により教員配置計画を進めていく。</p> <p>①当該学科の専任教員数(農業生産学科:15人、食品栄養学科:18人、食農ビジネス学科:12人)の水準を下回ることなく、維持または必要に応じ増員により、教育研究に支障が生じることのないよう対応する。</p> <p>②定年等により退職する教員については、手続きにおいて遺漏のないよう、学内からの補充・昇格または学外からの新規採用により、同等の職位の教員を後任として配置する。学内昇格による補充の場合は、同数の講師や助教の若手教員を新たに任用する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後、定年退職年齢未満の教員を採用する予定である。</p>																																							
	<p>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(広島国際大学 医療福祉学部 医療福祉学科)</p>	<p>助言事項</p> <p>○広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科の定員充足率について</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・入学者数は、各年度5月1日現在</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> <th>平均入学定員 超過率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>100</td> <td>305</td> <td>247</td> <td>70</td> <td>0.70</td> <td rowspan="4">0.60</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>100</td> <td>230</td> <td>184</td> <td>56</td> <td>0.56</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>100</td> <td>251</td> <td>194</td> <td>66</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 (平成31年度)</td> <td>100</td> <td>216</td> <td>189</td> <td>51</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td colspan="6">学生募集停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学部においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている。平成30年度以降は「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。</p> <p>具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。</p> <p>なお、本学部については、令和2年4月に学生募集を停止し、既存の学科を含めた1学部4学科(健康科学部:医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科)構成への改組を行った。</p> <p style="text-align: right;">以上(2)</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	平均入学定員 超過率(倍)	平成28年度	100	305	247	70	0.70	0.60	平成29年度	100	230	184	56	0.56	平成30年度	100	251	194	66	0.66	令和元年度 (平成31年度)	100	216	189	51	0.51	令和2年度	学生募集停止						<p>履行済</p> <p>該当なし</p>
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	平均入学定員 超過率(倍)																																				
平成28年度	100	305	247	70	0.70	0.60																																				
平成29年度	100	230	184	56	0.56																																					
平成30年度	100	251	194	66	0.66																																					
令和元年度 (平成31年度)	100	216	189	51	0.51																																					
令和2年度	学生募集停止																																									

- (注) ・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<農学部 農業生産学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>1) 入学者選抜の概要 入学者選抜の多様化を図るため、次の選抜を取り入れ、農学部で学ぶに相応しい学生を選抜できるよう計画する。なお、開設初年度の入学者選抜については、認可時期の関係で一部の選抜は実施しない。</p> <p>①特別推薦入試(指定校推薦、内部推薦、高大連携協定校推薦) ②公募制推薦入試 ③一般入試 ④大学入試センター試験利用入試 ⑤専門学科・総合学科推薦入試 ⑥外国人留学生入試</p>	<p>1) 入学者選抜の概要 開設2年目については、以下の入学者選抜を追加する。</p> <p>①総合型選抜AO入試 ②帰国生徒入試 ③社会人入試 ④外国人留学生入試(開設初年度は、認可時期の関係により未実施)</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制 摂南大学FD委員会及び農学部FD委員会</p> <p>a 委員会の設置状況 教員の教育活動の質的向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、授業内容と授業方法の改善を図ることを目的として、全学組織として摂南大学FD委員会を設置しているほか、令和2年4月に農学部FD委員会を設置した。 (「摂南大学FD委員会規定」については、別紙1を参照)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 農学部FD委員会は各学科専任教員1人(計4人)で構成している。 全学組織である「摂南大学FD委員会」には、「摂南大学FD委員会規定」に基づき、年間9回程度開催している。農学部については、令和2年4月より構成員として2人の委員を選出している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 「摂南大学FD委員会規定」に基づき、教務委員会と連携を図りながら、以下の事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業改善のための基本方針および実施体制に関すること 2. 授業アンケートの実施に関すること 3. 教授方法等の改善のための支援に関すること 4. 各学部および各研究科が行うFDの支援に関すること 5. FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等に関すること 6. その他学長が諮問した事項に関すること <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 教育研究に関する教員の資質維持向上を図るため、上記①実施体制(項目c:委員会の審議事項等)に基づいて実施する。</p> <p>b 実施方法 内容に即し、担当の運営委員会がそれぞれ企画・運営を行う。農学部教授会・学科会議および</p>
--

Eメール・ホームページ等により教職員全員に周知し、できるだけ多くの教員が参加できるように配慮する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修会は、農学部全教員を対象として実施予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施予定であるFD活動や授業アンケート、FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等の結果を踏まえて、授業改善に反映していくとともに、教育・研究に関する教員の資質維持向上を図るための体制づくりを推進する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・令和2年度前期・後期授業の各第13～14週目を予定
- ・参加人数：全教員（兼任含む）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・全学FDは、本大学ホームページの教職員専用ページに公開する。
- ・学生は自らが受講した科目のみアンケート結果を閲覧することができる。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

○摂南大学FD委員会規定

2004年1月13日
学園280

(趣旨)

第1条 この規定は、摂南大学学則第8条第1項および組織規定第72条第1項に定める摂南大学FD委員会(以下「委員会」という)の構成、審議事項に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 委員会は、本学教員の教育活動の質的向上・能力開発(ファカルティ・ディベロップメント、以下「FD」という)に関して恒常的に検討を行い、学部および大学院の授業内容と授業方法の改善を図ることを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

- イ 教務部長
- ロ 教育イノベーションセンター長
- ハ 各学部から選出された者 2名
- ニ その他必要に応じて学長が指名した者

2 前項ハ号の委員には、各学部の学科長および大学院担当教員をそれぞれ1名以上含めるものとする。

(委員の任期)

第4条 前条イ号およびロ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条ハ号の委員の任期は1年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員以外の出席)

第5条 議長は、必要に応じ委員以外の者を出席させることができる。

(審議事項)

第6条 委員会は、学長の諮問に応じて、各学部・研究科と連絡調整するとともに、教務委員会と連携を図りながら、つぎの各号に掲げる事項を審議する。

- イ 授業改善のための基本方針および実施体制に関すること
- ロ 授業アンケートの実施に関すること
- ハ 教授方法等の改善のための支援に関すること
- ニ 各学部および各研究科が行うFDの支援に関すること
- ホ FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等に関すること
- ヘ その他学長が諮問した事項に関すること

(委員長その他職務)

第7条 委員会に、委員長1名および副委員長若干名を置く。

2 委員長は、教務部長をもって充て、副委員長は、委員の中から委員長の意見を聴いて学長が任命する。

3 委員長は、学長の指揮に従い、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

(定足数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

(学長への報告)

第9条 委員長は、審議の経過および結果について議事録の写しを添えて、速やかに学長に報告しなければならない。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、教務部教務課で取り扱う。

(規定の改廃)

第11条 この規定の改廃は、大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長の承認を得て、理事長が行う。

付 則

1 この規定は、2004年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2020年4月1日から施行する。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

農学部は、「総合科学としての農学を支える広範な基礎科学に関する知識・技能をもって、「農」「食」「栄養」に関する社会的諸課題を自ら発見し、主体的に解決する人間性豊かな専門職業人を養成」を目的として設置した。完成年度（令和5年度）に向けて、設置の趣旨・目的の達成を目指す。

各学科の設置の目的（養成する人材像）は以下のとおりである。

<農業生産学科>

農業生産学科は、「生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究し、環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、および新技術の開発・普及に必要な知識・技術を身につけ社会に貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

<応用生物科学科>

応用生物科学科は、「生物・生命の諸現象とその背後にある原理とメカニズムを、分子から個体、集団、生態系を含む視点で深く学び、身につけた広範な知識を基に、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸課題の解決に貢献できる、創造力の豊かな人材を養成」を目的として設置した。

<食品栄養学科>

食品栄養学科は、「農学の学びを基盤として、食のプロセス（農産物の生産から加工・流通・消費まで）を体系的に理解し、食・栄養・健康・医療・食育の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

<食農ビジネス学科>

食農ビジネス学科は、農業や食料、食品産業に関する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に関する社会経済的な諸課題の解決に向けて、それらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和4年6月 公表予定

b 公表方法

大学のホームページ上に公開（令和4年6月予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成28年度に、財団法人日本高等教育評価機構で大学機関別認証評価を受審し、平成29年3月に適合の認定を受けた。

今回は、令和5年度に同機構による認証評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [(調査結果公表後1ヶ月以内) ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [(ウェブサイトへの掲載) ・ その他 ()]

《 a で「無」の場合》

d 公表しない理由期

[]

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 常翔学園

(2) 大学名

摂南大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒573-0101

大阪府枚方市長尾峠町45番1号 (〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17番8号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クレ テツオ) 久禮 哲郎 (平成26年1月)		
学長	(ヤギ キイチロウ) 八木 紀一郎 (平成27年11月)	(オギタ キヨカズ) 荻田 喜代一 (令和元年11月)	任期満了に伴う交代。 令和元年11月1日 (2)
学部長	(クボ ヤスユキ) 久保 康之 (令和2年4月)		
学科長等	(オボカタ ジュンイチ) 小保方 潤一 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」) でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合 (令和2年度までの5年間) ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学 (大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称 (学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 応用生物科学科 学士 (農学)	農学関係	年 4	人 80	年次 人 —	人 320	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止 (予定)」と記載してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学 定員超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学 定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 80 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.96倍	—	
志願者数	2,609 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	2,335 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	653 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	77 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.96										

- (注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	人 77 [-] (-)	人 - [-] (-)	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()		
2年次	/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()		
3年次			/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	
4年次					/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()
計			人 77 [-] (-)	人 [] ()			人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()

・令和2年5月1日 公表

(注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	77人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0人		0人	0人	

(注) ・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下 (○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜農学部 応用生物科学科＞

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 共通群	農学概論	1前	2			4						兼11
	農学基礎演習	1通	1									兼6
	グローバル農業演習	2通		2								兼2
	スマート農業演習	3通		1								兼2
	農業気象学	3前		2								兼1
	森林生態学	4前		2								兼1
	農業知的財産	4前		2								兼2
	小計(7科目)	—	3	9	0	4	0	0	0	0	0	兼20
専門科目 基礎系	化学	1前		2				1				
	化学演習	1前		1				1				
	生物学	1後		2				1				
	生物学演習	1後		1			1					
	物理学	1後		2								兼1
	生物統計学	2前		2								兼1
	小計(6科目)	—	0	10	0	0	0	2	0	0	0	兼2
植物系	バイオテクノロジー	1前		2		1						
	生物系統学	1後		2		4						
	ゲノム分子生物学	2前		2		1						
	植物遺伝子工学	2前		2		1						
	ゲノム機能学	2後		2				1				
	植物分子生理学	2後		2				1				
	細胞生物学	2後		2		1						
小計(7科目)	—	8	6	0	5	0	2	0	0	0		
微生物系	生化学	1後		2		1						
	応用微生物学	2前		2		1						
	生態学	2前		2			1					
	微生物工学	2後		2			1					
	共生ウイルス学	2後		2			1					
	植物共生微生物学	3前		2				1				
小計(6科目)	—	8	4	0	1	2	1	0	0	0		
動物・海洋生物系	産業動物学	2前		2		1						
	動物機能科学	2後		2		1						
	生体防御学	3前		2				1				
	生物情報学	3前		2		1						
	バイオインフォマティクス演習	3後		2				3				
	海洋動物学	2前		2		1						
	海洋生物機能学	2後		2		1						
	海洋生物化学	3前		2				1				
	水圏生物利用学	3後		2		1						
	応用藻類学	3後		2				1				
小計(10科目)	—	6	14	0	2	1	3	0	0	0		
実験・実習系	化学実験	1前		2		3	2	1	2	1		
	生物学実験	1後		2		2	1	3	2	1		
	物理学実験	3後		2								兼1
	応用生物科学基礎実験 I	2前		2		2	1	2	2	1		
	応用生物科学基礎実験 II	2後		2		3	1	2	2	1		
	応用生物科学専門実験 I	3前		2		3	1	2	2	1		
	応用生物科学専門実験 II	3後		2		2	2	2	2	1		
	小計(7科目)	—	12	2	0	5	3	4	2	1		兼1
専門総合系	園芸の技術	3前		2								兼1
	植物の病気	3前		2								兼1
	植物の改良	3前		2								兼1
	昆虫とくらし	3後		2								兼1
	作物とエネルギー生産	3後		2								兼1
	生きている土壌	4前		2								兼1
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼6	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 共通群	農学概論	1前	2			4						兼11
	農学基礎演習	1通	1									兼6
	グローバル農業演習	2通		2								兼2
	スマート農業演習	3通		1								兼2
	農業気象学	3前		2								兼1
	森林生態学	4前		2								兼1
	農業知的財産	4前		2								兼2
	小計(7科目)	—	3	9	0	4	0	0	0	0	0	兼20
専門科目 基礎系	化学	1前		2					1			
	化学演習	1前		1					1			
	生物学	1後		2					1			
	生物学演習	1後		1					1			
	物理学	1後		2								兼1
	生物統計学	2前		2								兼1
	小計(6科目)	—	0	10	0	0	0	2	0	0	0	兼2
植物系	バイオテクノロジー	1前		2		1						
	生物系統学	1後		2		4						
	ゲノム分子生物学	2前		2		1						
	植物遺伝子工学	2前		2		1						
	ゲノム機能学	2後		2				1				
	植物分子生理学	2後		2				1				
	細胞生物学	2後		2		1						
小計(7科目)	—	8	6	0	5	0	2	0	0	0		
微生物系	生化学	1後		2		1						
	応用微生物学	2前		2		1						
	生態学	2前		2				1				
	微生物工学	2後		2				1				
	共生ウイルス学	2後		2				1				
	植物共生微生物学	3前		2					1			
小計(6科目)	—	8	4	0	1	2	1	0	0	0		
動物・海洋生物系	産業動物学	2前		2		1						
	動物機能科学	2後		2		1						
	生体防御学	3前		2				1				
	生物情報学	3前		2		1						
	バイオインフォマティクス演習	3後		2				3				
	海洋動物学	2前		2		1						
	海洋生物機能学	2後		2		1						
	海洋生物化学	3前		2				1				
	水圏生物利用学	3後		2		1						
	応用藻類学	3後		2				1				
小計(10科目)	—	6	14	0	2	1	3	0	0	0		
実験・実習系	化学実験	1前		2		3	2	1	2	1		
	生物学実験	1後		2		2	1	3	2	1		
	物理学実験	3後		2								兼1
	応用生物科学基礎実験 I	2前		2		2	1	2	2	1		
	応用生物科学基礎実験 II	2後		2		3	1	2	2	1		
	応用生物科学専門実験 I	3前		2		3	1	2	2	1		
	応用生物科学専門実験 II	3後		2		2	2	2	2	1		
	小計(7科目)	—	12	2	0	5	3	4	2	1		兼1
専門総合系	園芸の技術	3前		2								兼1
	植物の病気	3前		2								兼1
	植物の改良	3前		2								兼1
	昆虫とくらし	3後		2								兼1
	作物とエネルギー生産	3後		2								兼1
	生きている土壌	4前		2								兼1
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼6	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	キャリアデザイン I	1前	1								兼1
	キャリアデザイン II	2後		1							兼1
	数的能力開発	2後		1							兼1
	インターンシップ	3通		2							兼1
	小計(4科目)	—	1	4	0	0	0	0	0	0	兼2
外国人留学生対象科目	日本事情F I	1・2・3・4前		2							兼1
	日本事情F II	1・2・3・4後		2							兼1
	日本語読解F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語読解F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語文法F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語文法F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語表現作文F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語表現作文F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語総合F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語総合F II	1・2・3・4後		1							兼1
	専門日本語F I	1・2・3・4前		1							兼1
	専門日本語F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語会話F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語会話F II	1・2・3・4後		1							兼1
	小計(14科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼4
帰国学生対象科目	日本事情R I	1・2・3・4前		2							兼1
	日本事情R II	1・2・3・4後		2							兼1
	日本語読解R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語文法R	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語表現作文R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語総合R	1・2・3・4後		1							兼1
	専門日本語R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語会話R	1・2・3・4後		1							兼1
	小計(8科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	兼4
教職課程の設置により開設する授業科目	理科教育法 I	2後			2						兼1
	理科教育法 II	3前			2						兼1
	理科教育法 III	3後			2						兼1
	理科教育法 IV	3後			2						兼1
	教育原理	2前又は後			2						兼1
	教師論	1前			2						兼1
	教育経営論	3前又は後			2						兼1
	教育社会学	3前又は後			2						兼1
	教育心理学	1前又は後			2						兼1
	特別支援教育論	3前又は後			2						兼1
	教育課程論	2前又は後			2						兼1
	道徳教育論	3前又は後			2						兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	1前又は後			2						兼1
	教育方法論	2前又は後			2						兼1
	生徒指導論(進路指導を含む)	2前又は後			2						兼1
	教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	3前又は後			2						兼1
	教育実習 I	3前又は後			1						兼5
	教育実習 II	4通			2						兼5
	教育実習 III	4通			4						兼5
	教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5
	地域連携教育活動 I	2前又は後			2						兼5
	地域連携教育活動 II	2前又は後			2						兼5
	小計(22科目)	—	0	0	45	0	0	0	0	0	兼7
	合計(149科目)	—	51	165	45	5	3	4	2	1	兼70

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	キャリアデザイン I	1前	1								兼1
	キャリアデザイン II	2後		1							兼1
	数的能力開発	2後		1							兼1
	インターンシップ	3通		2							兼1
	小計(4科目)	—	1	4	0	0	0	0	0	0	兼2
外国人留学生対象科目	日本事情F I	1・2・3・4前		2							兼1
	日本事情F II	1・2・3・4後		2							兼1
	日本語読解F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語読解F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語文法F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語文法F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語表現作文F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語表現作文F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語総合F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語総合F II	1・2・3・4後		1							兼1
	専門日本語F I	1・2・3・4前		1							兼1
	専門日本語F II	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語会話F I	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語会話F II	1・2・3・4後		1							兼1
	小計(14科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼6
帰国学生対象科目	日本事情R I	1・2・3・4前		2							兼1
	日本事情R II	1・2・3・4後		2							兼1
	日本語読解R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語文法R	1・2・3・4後		1							兼1
	日本語表現作文R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語総合R	1・2・3・4後		1							兼1
	専門日本語R	1・2・3・4前		1							兼1
	日本語会話R	1・2・3・4後		1							兼1
	小計(8科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	兼5
教職課程の設置により開設する授業科目	理科教育法 I	2後			2						兼1
	理科教育法 II	3前			2						兼1
	理科教育法 III	3後			2						兼1
	理科教育法 IV	3後			2						兼1
	教育原理	2前又は後			2						兼1
	教師論	1前			2						兼1
	教育経営論	3前又は後			2						兼1
	教育社会学	3前又は後			2						兼1
	教育心理学	1前又は後			2						兼1
	特別支援教育論	3前又は後			2						兼1
	教育課程論	2前又は後			2						兼1
	道徳教育論	3前又は後			2						兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	1前又は後			2						兼1
	教育方法論	2前又は後			2						兼1
	生徒指導論(進路指導を含む)	2前又は後			2						兼1
	教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	3前又は後			2						兼1
	教育実習 I	3前又は後			1						兼5
	教育実習 II	4通			2						兼5
	教育実習 III	4通			4						兼5
	教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5
	地域連携教育活動 I	2前又は後			2						兼5
	地域連携教育活動 II	2前又は後			2						兼5
	小計(22科目)	—	0	0	45	0	0	0	0	0	兼7
	合計(149科目)	—	51	165	45	5	3	4	2	1	兼82

卒業要件及び履修方法
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、必修科目51単位、選択科目73単位以上の合計124単位以上修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。</p> <p>【履修方法】 1 専門科目の履修方法 必修科目45単位、選択科目53単位以上、合計98単位以上を修得すること。 ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。 (1) 専門コア群の基礎系から6単位以上を修得。 (2) 専門コア群の植物系、微生物系および動物・海洋生物系から38単位以上(必修22単位を含む)を修得。 (3) 専門総合群から20単位以上(農業生産系、食品栄養系、食農ビジネス系から各4単位以上を含む)を修得。</p> <p>2 教養科目の履修方法 必修科目6単位、選択科目20単位以上、合計26単位以上を修得すること。 ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。 (1) 語学系から6単位以上を修得。 (2) 人文系から2単位以上を修得。 (3) 社会系から2単位以上を修得。 (4) 自然系から4単位以上(必修2単位を含む)を修得。</p> <p>(履修科目の登録上の上限:48単位(年間))</p>

卒業要件及び履修方法
<p>【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、必修科目51単位、選択科目73単位以上の合計124単位以上修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。</p> <p>【履修方法】 1 専門科目の履修方法 必修科目45単位、選択科目53単位以上、合計98単位以上を修得すること。 ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。 (1) 専門コア群の基礎系から6単位以上を修得。 (2) 専門コア群の植物系、微生物系および動物・海洋生物系から38単位以上(必修22単位を含む)を修得。 (3) 専門総合群から20単位以上(農業生産系、食品栄養系、食農ビジネス系から各4単位以上を含む)を修得。</p> <p>2 教養科目の履修方法 必修科目6単位、選択科目20単位以上、合計26単位以上を修得すること。 ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。 (1) 語学系から6単位以上を修得。 (2) 人文系から2単位以上を修得。 (3) 社会系から2単位以上を修得。 (4) 自然系から4単位以上(必修2単位を含む)を修得。</p> <p>(履修科目の登録上の上限:48単位(年間))</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ② 授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・教養科目のうち、全学共通の科目①～③において一部内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> ①少人数教育推進のため、「日本語表現法」「基礎英語 I a」「基礎英語 I b」「基礎英語 II a」「基礎英語 II b」「教養数学」の兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ②広く学習機会を提供するため、「海外語学研修」の配当年次を「2前」から「1・2・3・4通」に変更。 ③学部単位を学科単位での開講に改編したことに伴い、「スポーツ科学 I」「スポーツ科学 II」の兼任・兼担の配置を「兼4」から「兼2」に変更。
--

(注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
26科目	101科目	22科目	149科目	26科目	101科目	22科目	149科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{149} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【校舎敷地】 分筆による減少 (△0.72 m ²)。 (2)					
	校舎敷地	133,444.11 133,444.83 m ²	0 m ²	0 m ²	133,444.11 133,444.83 m ²						
	運動場用地	191,234.28 m ²	0 m ²	0 m ²	191,234.28 m ²						
	小 計	324,678.39 324,679.11 m ²	0 m ²	0 m ²	324,678.39 324,679.11 m ²						
	そ の 他	24,632.60 m ²	0 m ²	0 m ²	24,632.60 m ²						
	合 計	349,310.99 349,311.71 m ²	0 m ²	0 m ²	349,310.99 349,311.71 m ²						
(2) 校 舎	専 用	132,471.12 132,561.66 m ² (132,471.12) (132,561.66 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	132,471.12 132,561.66 m ² (132,471.12) (132,561.66 m ²)	登記による校舎等面積の変更 (△90.54 m ²)。(2)					
	共 用										
(3) 教室等	講義室	73 72 室	演習室	99 52 室	実験実習室	106 99 室	情報処理学習施設	15 16 室 8 (補助職員 0人)	語学学習施設	34 室 3 (補助職員 0人)	大学全体 【講義室、演習室、実験実習室、 情報処理学習施設】 用途変更による増減。教育研究 活動に支障はない。(2) 【情報処理学習施設・語学学習 施設補助職員】サポート体制充 実のため変更。(2)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数		食品栄養学科の講師につい ては、2名で教員室1室を利用 助教・助手については、複数 人で助手室(3室)を利用				
	農学部 農業生産学科				13 室						
	農学部 応用生物科学科				13 室						
	農学部 食品栄養学科				16 室						
	農学部 食農ビジネス学科				12 室						
(5) 図書・設備	新設学部等 の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分 図書：525,861 515,847 冊 〔191,988 冊〕〔191,204 冊〕 新規購入による増。(2) 学術雑誌：3,911 3,282 種 〔2,782 種〕〔2,191 種〕 新規購入による増。(2) 視聴覚資料：11,304 12,222 点 旧式記憶媒体で再生不可能な資 料を廃棄したための減少。代替 資料を所蔵し教育研究活動に支 障はない。(2) 【学術雑誌】 算出方法の補正(組合せ販売 等)による点数増。金額に変 更なし。(2)			
	農学部 農業生産学科	2,150 [250] (1,820 [220])	27 [11] 26 [10] (26 [10])	9 [9] (9 [9])	17 (17)	3,273	9				
	応用生物科学科	2,150 [250] (1,820 [220])	11 [6] (11 [6])	5 [5] (5 [5])	12 (12)	(3,197)	(0)				
	食品栄養学科	2,840 [240] (2,300 [200])	22 [7] 22 [5] (22 [5])	5 [5] (5 [5])	9 (9)	1,767 (1,765)	17 (17)				
	食農ビジネス学科	2,980 [280] (2,320 [220])	25 [8] 23 [6] (23 [6])	4 [4] (4 [4])	21 (21)	1,041 (1,041)	0 (0)				
	農学部/薬学部/看護学部	0 [0] (0 [0])	0 [0] (0 [0])	0 [0] (0 [0])	0 (0)	6,088 (6,088)	0 (0)				
	計	10,120 [1,020] (8,260 [860])	85 [32] 82 [27] (82 [27])	23 [23] (23 [23])	59 (59)	12,169 (12,091)	26 (17)				

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数			大学全体 【図書館面積】 倉庫増加および専用面積の見直しによる変更 (+61.40 m ²)。 (2) 【閲覧座席数】 改修工事に伴う配置変更による減少。利用上の支障なし。(2) 【収納可能冊数】 書架の増設による収納スペース増加[基礎計算を文科省学術情報基盤調査と同基準の25冊/段(90cm)で算出]。(2) 【体育館面積】 登記による面積の変更(△15.04 m ²)。(2)
	8,230.45 8,169.05 -m ²		1,163 1,176 席		635,945 639,170 冊			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					申請学部全体 図書購入費には、電子ジャーナルの利用料を含む
	7,401.43 7,416.47 -m ²		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	2,035千円	2,035千円	図書購入費	63,167千円	14,123千円	10,000千円
	共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	1,809,854千円	126,983千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	農業生産学科	1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—千円	—千円	
	応用生物科学科	1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—千円	—千円	
	食品栄養学科	1,680千円	1,530千円	1,530千円	1,530千円	—千円	—千円	
	食農ビジネス学科	1,350千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	摂南大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC学)のみのみ	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
薬学研究科 博士課程	4	4	—	16	—	0.62	0.50	—	平成24	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
医療薬学専攻	4	4	—	16	博士(薬学)	0.62	0.50	—	平成24		
理工学研究科 博士前期課程	2	34	—	68	—	0.74	0.67	—	平成元	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
社会開発工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.91	0.83	—	平成元		
生産開発工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.66	0.50	—	平成26	同上	
生命科学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	0.65	0.70	—	平成26	同上	
理工学研究科 博士後期課程	3	4	—	12	—	0.33	0.75	—	平成20	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
創生工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	0.00	—	平成20		
生命科学専攻	3	2	—	6	博士(理学)	0.66	1.50	—	平成28	同上	
経済経営学研究科 修士課程	2	10	—	20	—	0.05	0.10	—	平成26	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
経済学専攻	2	5	—	10	修士(経済学)	0.00	0.00	—	平成26		
経営学専攻	2	5	—	10	修士(経営学)	0.10	0.20	—	平成26	同上	
法学研究科 修士課程	2	5	—	10	—	0.50	0.60	—	平成9	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
法律学専攻	2	5	—	10	修士(法学)	0.50	0.60	—	平成9		
国際言語文化研究科 修士課程	2	5	—	10	—	0.20	0.20	—	平成11	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
国際言語文化専攻	2	5	—	10	修士(文学)	0.20	0.20	—	平成11		
看護学研究科 修士課程	2	6	—	12	—	0.75	1.00	—	平成28	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
看護学専攻	2	6	—	12	修士(看護学)	0.75	1.00	—	平成28		
大学院全体	—	68	—	148	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	摂南大学										備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更期間(AC学のみ)	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			
理工学部	4	500	3年次30	2,060	—	1.02	1.03	—	昭和50	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
生命科学科	4	90	3年次5	370	学士(理学)	1.03	1.13	—	平成22			
住環境デザイン学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.00	0.94	—	平成22		同上	
建築学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.05	1.10	—	昭和50		同上	
機械工学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.01	1.00	—	昭和50		同上	
電気電子工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.04	1.06	—	昭和50		同上	
都市環境工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.01	0.94	—	平成22		同上	
外国語学部	4	220	3年次5	890	—	1.06	1.05	—	昭和57	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
外国語学科	4	220	3年次5	890	学士(文学)	1.06	1.05	—	昭和57			
経営学部	4	270	3年次8	1,096	—	1.07	1.05	—	昭和57	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
経営学科	4	170	3年次4	688	学士(経営学)	1.07	1.00	—	平成18			
経営情報学科	4	100	3年次4	408	学士(経営学)	1.09	1.14	—	昭和57		同上	
薬学部	6	220	—	1,320	—	1.03	1.05	—	平成18	大阪府枚方市長尾岬町45番1号		
薬学科(6年制)	6	220	—	1,320	学士(薬学)	1.03	1.05	—	平成18			
法学部	4	250	3年次5	1,010	—	1.04	1.05	—	昭和63	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
法律学科	4	250	3年次5	1,010	学士(法学)	1.04	1.05	—	昭和63			
経済学部	4	250	3年次4	1,008	—	1.05	1.08	—	平成22	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
経済学科	4	250	3年次4	1,008	学士(経済学)	1.05	1.08	—	平成22			
看護学部	4	100	—	400	—	1.03	1.10	—	平成24	大阪府枚方市長尾岬町45番1号		
看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.03	1.10	—	平成24			
<u>農学部</u>	4	340	—	340	—	0.95	0.95	令和2	令和2	大阪府枚方市長尾岬町45番1号	令和2年度学部設置	
<u>農業生産学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.98	0.98	令和2	令和2			
<u>応用生物科学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.96	0.96	令和2	令和2			同上
<u>食品栄養学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.90	0.90	令和2	令和2			同上
<u>食農ビジネス学科</u>	4	100	—	100	学士(農学)	0.97	0.97	令和2	令和2			同上
大学全体	—	2,150	3年次52	8,124	—	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	大阪工業大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更(AC学)のみの年度	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
工学研究科 博士前期課程	2	110	—	220	—	1.12	1.04	—	昭和40	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
建築・都市デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	0.88	0.83	—	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.20	1.16	—	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.23	1.06	—	平成29	同上	
工学研究科 博士後期課程	3	6	—	18	—	0.88	1.16	—	昭和42	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	平成29年度 学生募集停止
都市デザイン工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年度 学生募集停止
生体医工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成19	同上	平成29年度 学生募集停止
電気電子工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年度 学生募集停止
建築・都市デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.66	1.00	—	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	1.00	1.00	—	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	1.00	1.50	—	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士前期課程	2	30	—	60	—	1.18	1.13	—	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.18	1.13	—	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.16	0.00	—	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.16	0.00	—	平成29	同上	
情報科学研究科 博士前期課程	2	40	—	80	—	1.02	1.22	—	平成12	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	
情報科学専攻	2	40	—	80	修士(情報学)	1.02	1.22	—	平成12	同上	
情報科学研究科 博士後期課程						0.00	0.00		平成14	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	
情報科学専攻	3	5	—	15	博士(情報学)	0.00	0.00	—	平成14	同上	
知的財産研究科 専門職学位課程	2	30	—	60	—	1.11	1.16	—	平成17	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
知的財産専攻	2	30	—	60	知的財産修士(専門職)	1.11	1.16	—	平成17	同上	
大学院全体	—	223	—	459	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	大阪工業大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC学のみ)	開設年度	所在地	
工学部	4年	900人	3年次40人	3,680人	—	1.01倍	1.07倍	—	昭和24年度	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
都市デザイン工学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.01	1.05	—	昭和24	同上	平成29年度定員変更90→100(+10)
空間デザイン学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止
建築学科	4	150	3年次5	610	学士(工学)	1.02	0.99	—	昭和24	同上	平成29年度定員変更140→150(+10)
機械工学科	4	140	3年次5	570	学士(工学)	0.98	1.07	—	昭和25	同上	平成29年度定員変更130→140(+10)
ロボット工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成22	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止
電気電子システム工学科	4	125	3年次5	510	学士(工学)	1.01	1.12	—	昭和24	同上	平成29年度定員変更115→125(+10)
電子情報システム工学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.05	1.19	—	昭和34	同上	平成29年度定員変更100→110(+10)
応用化学科	4	130	3年次5	530	学士(工学)	0.99	1.02	—	昭和33	同上	平成29年度定員変更120→130(+10)
環境工学科	4	75	3年次5	310	学士(工学)	1.03	1.10	—	平成18	同上	平成29年度定員変更70→75(+5)
生命工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.00	1.08	—	平成22	同上	平成29年度定員変更65→70(+5)
ロボティクス&デザイン工学部	4	280	3年次15	1,150	—	1.04	1.12	平成29	平成29		平成29年度学部設置
ロボット工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.02	1.08	平成29	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
システムデザイン工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.07	1.14	平成29	平成29	同上	
空間デザイン学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.03	1.14	平成29	平成29	同上	
情報科学部	4	420	3年次20	1,720	—	1.00	1.06	—	平成8		
情報知能学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.97	1.07	—	平成8	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	平成29年度定員変更95→105(+10)
情報システム学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.98	1.04	—	平成8	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
情報メディア学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.02	1.06	—	平成14	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
ネットワークデザイン学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.02	1.08	—	平成19	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
知的財産学部	4	140	3年次10	580	—	1.06	1.08	—	平成15		
知的財産学科	4	140	3年次10	580	学士(知的財産学)	1.06	1.08	—	平成15	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
大学全体	—	1,740	3年次85	7,130	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	広島国際大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更(AC学)のみの年度	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
看護学研究科 博士前期課程	2	10	—	20	—	0.00	0.00	—	平成15	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
看護学専攻	2	10	—	20	修士 (看護学)	0.00	0.00	—	平成15	同上	
看護学研究科 博士後期課程	3	3	—	9	—	0.00	0.00	—	平成24	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.00	0.00	—	平成24	同上	
医療・福祉科学研究科 博士前期課程	2	10	—	20	—	1.30	1.30	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療工学専攻	2	10	—	20	修士 (医療工学)	1.30	1.30	—	平成21	同上	
医療・福祉科学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.66	0.00	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療工学専攻	3	2	—	6	博士 (医療工学)	0.66	0.00	—	平成21	同上	
医療・福祉科学研究科 修士課程	2	10	—	20	—	0.30	0.30	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療福祉学専攻	2	5	—	10	修士 (医療福祉学)	0.30	0.20	—	平成21	同上	
医療経営学専攻	2	5	—	10	修士 (医療経営学)	0.30	0.40	—	平成21	同上	
心理科学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.00	0.00	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
臨床心理学専攻	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.00	0.00	—	平成21	同上	
心理科学研究科 専門職学位課程	2	20	—	40	—	0.65	0.60	—	平成21	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
実践臨床心理学専攻	2	20	—	40	臨床心理修士 (専門職)	0.65	0.60	—	平成21	同上	
薬学研究科 博士課程	4	2	—	8	—	0.62	0.00	—	平成24	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
医療薬学専攻	4	2	—	8	博士 (薬学)	0.62	0.00	—	平成24	同上	
大学院全体	—	59	—	129	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	広島国際大学										備考
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
保健医療学部	4	220	—	820	—	1.05	1.07	—	平成10	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
診療放射線学科	4	70	—	280	学士 (診療放射線学)	1.11	1.18	—	平成10		
医療技術学科 臨床工学専攻 臨床検査学専攻	4	100	—	490	学士 (臨床工学) (臨床検査学)	0.99	0.93	令和2	平成25	同上	令和2年度定員変更 130→100(-30)
救急救命学科	4	50	—	50	学士 (救急救命学)	1.22	1.22	令和2	令和2	同上	令和2年度学科設置
総合リハビリテーション学部	4	180	—	660	—	1.07	1.06	—	平成25	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻 言語聴覚療法専攻 義肢装具学専攻	4	180	—	570	学士 (理学療法) (作業療法) (言語聴覚療法) (義肢装具学)	1.12	1.06	令和2	平成25		令和2年度定員変更 130→180(+50)
リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻	4	—	—	90	学士 (義肢装具学)	—	—	—	平成25	同上	令和2年度学生募集停止
医療福祉学部	4	—	3年次 10	320	—	—	—	—	平成10	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻	4	—	3年次 10	320	学士 (医療福祉学)	—	—	—	平成10		令和4年度3年次編入学 募集停止
医療経営学部	4	—	—	270	—	—	—	—	平成23	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
医療経営学科	4	—	—	270	学士 (医療経営学)	—	—	—	平成23		
心理科学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成13	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	平成27年度学生募集停止
臨床心理学科	4	—	—	—	学士 (臨床心理学)	—	—	—	平成13		平成29年度3年次編入学 募集停止
心理学部	4	—	3年次 10	290	—	—	—	—	平成27	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
心理学科	4	—	3年次 10	290	学士 (心理学)	—	—	—	平成27		令和4年度3年次編入学 募集停止
看護学部	4	120	3年次 10	500	—	1.05	1.07	—	平成15	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	
看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.05	1.07	—	平成15		
薬学部	6	120	—	720	—	0.84	0.98	—	平成18	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	
薬学科(6年制)	6	120	—	720	学士 (薬学)	0.84	0.98	—	平成18		
医療栄養学部	4	—	—	180	—	—	—	—	平成26	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	令和2年度学生募集停止
医療栄養学科	4	—	—	180	学士 (医療栄養学)	—	—	—	平成26		

大学の名称	広島国際大学										備考
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
<u>健康科学部</u>	4	350	—	350	—	0.76	0.76	令和2	令和2		令和2年度学部設置
<u>医療福祉学科</u> <u>医療福祉学専攻</u> <u>介護福祉学専攻</u> <u>保育福祉学専攻</u>	4	100	—	100	学士 (医療福祉学)	0.49	0.49	令和2	令和2	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
<u>医療経営学科</u>	4	90	—	90	学士 (医療経営学)	0.83	0.83	令和2	令和2	同上	
<u>心理学科</u>	4	100	—	100	学士 (心理学)	0.83	0.83	令和2	令和2	同上	
<u>医療栄養学科</u>	4	60	—	60	学士 (医療栄養学)	1.01	1.01	令和2	令和2	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
<u>健康スポーツ学部</u>	4	70	—	70	—	1.08	1.08	令和2	令和2	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	令和2年度学部設置
<u>健康スポーツ学科</u>	4	70	—	70	学士 (健康スポーツ学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
大学全体	—	1,060	3年次 30	4,180	—	—	—	—	—	—	—

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・ 本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引（令和3年度開設用）」と同じです。
 - ・ 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
認可時 (令和元年)	<p>・将来において、留学生を受け入れる際には、日本語能力や経費支弁能力の確認、在籍管理、入学後の履修指導や生活指導などに係る適切な体制を構築すること。(農業生産学科、応用生物科学科、食品栄養学科)</p>	<p>遵守事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人留学生の日本語能力の確認については、本大学入試部にて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・出願時、出願書類（日本語）にて志望理由、入学後の学修計画、卒業後の進路目標を記載させている。また、4技能のレベルを「日本語能力認定書（本大学所定様式）」にて、日本語講師等に確認している。 ・日本語で学科試験を課すほか、面接にて日本語能力を確認している。 ○経費支弁能力については、入学後に生活状況調査票にて経済状況の確認を行ったうえで、必要に応じて各種奨学金の紹介を行っている。 ○外国人留学生の受入管理については、本大学国際交流センターにて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍管理は、同センター事務職員が毎月1回、在籍確認簿に署名をさせ、修学に係る相談及びアドバイス等を行っている。 ・入学後の履修指導・生活指導は、毎年1回、事前に留学生に生活状況調査票（卒業後の進路希望の有無、通学方法、経済状況、アルバイトの有無等）の作成に加え、学業成績表、学内奨学金申請書等を提出させたいうで、同センター運営委員（教員）及び事務職員が面接を行い、併せて日本語能力の状況確認を行っている。 	履行済	該当なし
	<p>・将来において、留学生を受け入れる際には、日本語能力や経費支弁能力の確認、在籍管理、入学後の履修指導や生活指導などに係る適切な体制を構築すること。また、外国人留学生入試で受験生に課す試験科目は、設置の趣旨と必要性の書類では「日本語、数学（予定）」だが、審査意見への対応を記載した書類では、「日本語、生物（予定）」と記載されているため、記載内容を整合すること。(食農ビジネス学科)</p>	<p>遵守事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人留学生の日本語能力の確認については、本大学入試部にて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・出願時、出願書類（日本語）にて志望理由、入学後の学修計画、卒業後の進路目標を記載させている。また、4技能のレベルを「日本語能力認定書（本大学所定様式）」にて、日本語講師等に確認している。 ・日本語で学科試験を課すほか、面接にて日本語能力を確認している。 ○経費支弁能力については、入学後に生活状況調査票にて経済状況の確認を行ったうえで、必要に応じて各種奨学金の紹介を行っている。 ○外国人留学生の受入管理については、国際交流センターにて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍管理は、同センター事務職員が毎月1回、在籍確認簿に署名をさせ、修学に係る相談及びアドバイス等を行っている。 ・入学後の履修指導・生活指導は、毎年1回、事前に留学生に生活状況調査票（卒業後の進路希望の有無・通学方法・経済状況・アルバイトの有無等）の作成に加え、学業成績表・学内奨学金申請書等を提出させたいうで、同センター運営委員（教員）及び事務職員が面接を行い、併せて日本語能力の状況確認を行っている。 <p>また、当該入試における受験科目については、設置の趣旨と必要性の書類に記載のとおり、「日本語、数学」で周知を行っている。</p>	履行済	該当なし
	<p>・専門学科・総合学科推薦入試において、アドミッション・ポリシーに掲げる化学、数学、国語の基礎知識を身に付</p>	<p>助言事項</p> <p>アドミッション・ポリシーは、各学部・学科ごとに定めており、入試ガイド、入試要項、AO入試リーフレット並びに本大学ホームページに掲載するとともに、高等学校・予備校・進学相談会等での学生募集活動において、広く学内外に周知している。</p> <p>そのうえで、入学志願者に対し当該入試の出願資格、</p>	履行済	該当なし

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画																																								
	<p>けていることについては、「出身学校の調査書」等により総合的に判断するとしていることについて、入学志願者に明確に示すことが望ましい。(食品栄養学科)</p>	<p>選考方法等として、入試要項、入試ガイド等の各種印刷物および本大学ホームページにて周知を行っている。</p>																																									
	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(農業生産学科、食品栄養学科、食農ビジネス学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>学校法人常翔学園就業規則において定年退職年齢を満64歳と定めている。64歳を超える者に対しては、「学校法人常翔学園 特任教員規定」により、満70歳を超えない期間まで特任教員(専任教員)として採用することができることから、本規定を適用し対応する。</p> <p>当該学科の教員組織の将来構想は、以下の方針により教員配置計画を進めていく。</p> <p>①当該学科の専任教員数(農業生産学科:15人、食品栄養学科:18人、食農ビジネス学科:12人)の水準を下回ることなく、維持または必要に応じ増員により、教育研究に支障が生じることのないよう対応する。</p> <p>②定年等により退職する教員については、手続きにおいて遺漏のないよう、学内からの補充・昇格または学外からの新規採用により、同等の職位の教員を後任として配置する。学内昇格による補充の場合は、同数の講師や助教の若手教員を新たに任用する。</p>	<p>履行中</p>	<p>今後、定年退職年齢未満の教員を採用する予定である。</p>																																							
	<p>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(広島国際大学 医療福祉学部 医療福祉学科)</p>	<p>助言事項</p> <p>○広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科の定員充足率について</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・入学者数は、各年度5月1日現在</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> <th>平均入学定員 超過率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>100</td> <td>305</td> <td>247</td> <td>70</td> <td>0.70</td> <td rowspan="4">0.60</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>100</td> <td>230</td> <td>184</td> <td>56</td> <td>0.56</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>100</td> <td>251</td> <td>194</td> <td>66</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 (平成31年度)</td> <td>100</td> <td>216</td> <td>189</td> <td>51</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td colspan="6">学生募集停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学部においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている。平成30年度以降は「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。</p> <p>具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。</p> <p>なお、本学部については、令和2年4月に学生募集を停止し、既存の学科を含めた1学部4学科(健康科学部:医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科)構成への改組を行った。</p> <p style="text-align: right;">以上(2)</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	平均入学定員 超過率(倍)	平成28年度	100	305	247	70	0.70	0.60	平成29年度	100	230	184	56	0.56	平成30年度	100	251	194	66	0.66	令和元年度 (平成31年度)	100	216	189	51	0.51	令和2年度	学生募集停止						<p>履行済</p>	<p>該当なし</p>
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	平均入学定員 超過率(倍)																																					
平成28年度	100	305	247	70	0.70	0.60																																					
平成29年度	100	230	184	56	0.56																																						
平成30年度	100	251	194	66	0.66																																						
令和元年度 (平成31年度)	100	216	189	51	0.51																																						
令和2年度	学生募集停止																																										

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<農学部 応用生物科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>1) 入学者選抜の概要 入学者選抜の多様化を図るため、次の選抜を取り入れ、農学部で学ぶに相応しい学生を選抜できるよう計画する。なお、開設初年度の入学者選抜については、認可時期の関係で一部の選抜は実施しない。</p> <p>①特別推薦入試(指定校推薦、内部推薦、高大連携協定校推薦) ②公募制推薦入試 ③一般入試 ④大学入試センター試験利用入試 ⑤専門学科・総合学科推薦入試 ⑥外国人留学生入試</p>	<p>1) 入学者選抜の概要 開設2年目については、以下の入学者選抜を追加する。</p> <p>①総合型選抜AO入試 ②帰国生徒入試 ③社会人入試 ④外国人留学生入試(開設初年度は、認可時期の関係により未実施)</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制 摂南大学FD委員会及び農学部FD委員会</p> <p>a 委員会の設置状況 教員の教育活動の質的向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、授業内容と授業方法の改善を図ることを目的として、全学組織として摂南大学FD委員会を設置しているほか、令和2年4月に農学部FD委員会を設置した。 (「摂南大学FD委員会規定」については、別紙1を参照)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 農学部FD委員会は各学科専任教員1人(計4人)で構成している。 全学組織である「摂南大学FD委員会」には、「摂南大学FD委員会規定」に基づき、年間9回程度開催している。農学部については、令和2年4月より構成員として2人の委員を選出している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 「摂南大学FD委員会規定」に基づき、教務委員会と連携を図りながら、以下の事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業改善のための基本方針および実施体制に関すること 2. 授業アンケートの実施に関すること 3. 教授方法等の改善のための支援に関すること 4. 各学部および各研究科が行うFDの支援に関すること 5. FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等に関すること 6. その他学長が諮問した事項に関すること
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 教育研究に関する教員の資質維持向上を図るため、上記①実施体制(項目c:委員会の審議事項等)に基づいて実施する。</p> <p>b 実施方法 内容に即し、担当の運営委員会がそれぞれ企画・運営を行う。農学部教授会・学科会議および</p>

Eメール・ホームページ等により教職員全員に周知し、できるだけ多くの教員が参加できるように配慮する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修会は、農学部全教員を対象として実施予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施予定であるFD活動や授業アンケート、FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等の結果を踏まえて、授業改善に反映していくとともに、教育・研究に関する教員の資質維持向上を図るための体制づくりを推進する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・令和2年度前期・後期授業の各第13～14週目を予定
- ・参加人数：全教員（兼任含む）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・全学FDは、本大学ホームページの教職員専用ページに公開する。
- ・学生は自らが受講した科目のみアンケート結果を閲覧することができる。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

○摂南大学FD委員会規定

2004年1月13日
学園280

(趣旨)

第1条 この規定は、摂南大学学則第8条第1項および組織規定第72条第1項に定める摂南大学FD委員会(以下「委員会」という)の構成、審議事項に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 委員会は、本学教員の教育活動の質的向上・能力開発(ファカルティ・ディベロップメント、以下「FD」という)に関して恒常的に検討を行い、学部および大学院の授業内容と授業方法の改善を図ることを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

イ 教務部長

ロ 教育イノベーションセンター長

ハ 各学部から選出された者 2名

ニ その他必要に応じて学長が指名した者

2 前項ハ号の委員には、各学部の学科長および大学院担当教員をそれぞれ1名以上含めるものとする。

(委員の任期)

第4条 前条イ号およびロ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条ハ号の委員の任期は1年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員以外の出席)

第5条 議長は、必要に応じ委員以外の者を出席させることができる。

(審議事項)

第6条 委員会は、学長の諮問に応じて、各学部・研究科と連絡調整するとともに、教務委員会と連携を図りながら、つぎの各号に掲げる事項を審議する。

イ 授業改善のための基本方針および実施体制に関すること

ロ 授業アンケートの実施に関すること

ハ 教授方法等の改善のための支援に関すること

ニ 各学部および各研究科が行うFDの支援に関すること

ホ FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等に関すること

ヘ その他学長が諮問した事項に関すること

(委員長その他職務)

第7条 委員会に、委員長1名および副委員長若干名を置く。

2 委員長は、教務部長をもって充て、副委員長は、委員の中から委員長の意見を聴いて学長が任命する。

3 委員長は、学長の指揮に従い、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

(定足数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

(学長への報告)

第9条 委員長は、審議の経過および結果について議事録の写しを添えて、速やかに学長に報告しなければならない。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、教務部教務課で取り扱う。

(規定の改廃)

第11条 この規定の改廃は、大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長の承認を得て、理事長が行う。

付 則

1 この規定は、2004年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2020年4月1日から施行する。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

農学部は、「総合科学としての農学を支える広範な基礎科学に関する知識・技能をもって、「農」「食」「栄養」に関する社会的諸課題を自ら発見し、主体的に解決する人間性豊かな専門職業人を養成」を目的として設置した。完成年度（令和5年度）に向けて、設置の趣旨・目的の達成を目指す。

各学科の設置の目的（養成する人材像）は以下のとおりである。

＜農業生産学科＞

農業生産学科は、「生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究し、環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、および新技術の開発・普及に必要な知識・技術を身につけ社会に貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

＜応用生物科学科＞

応用生物科学科は、「生物・生命の諸現象とその背後にある原理とメカニズムを、分子から個体、集団、生態系を含む視点で深く学び、身につけた広範な知識を基に、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸課題の解決に貢献できる、創造力の豊かな人材を養成」を目的として設置した。

＜食品栄養学科＞

食品栄養学科は、「農学の学びを基盤として、食のプロセス（農産物の生産から加工・流通・消費まで）を体系的に理解し、食・栄養・健康・医療・食育の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

＜食農ビジネス学科＞

食農ビジネス学科は、農業や食料、食品産業に関する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に関する社会経済的な諸課題の解決に向けて、それらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和4年6月 公表予定

b 公表方法

大学のホームページ上に公開（令和4年6月予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成28年度に、財団法人日本高等教育評価機構で大学機関別認証評価を受審し、平成29年3月に適合の認定を受けた。

今回は、令和5年度に同機構による認証評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [(調査結果公表後1ヶ月以内) ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [(ウェブサイトへの掲載) ・ その他 ()]

《 a で「無」の場合》

d 公表しない理由期

[]

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 常翔学園

(2) 大学名

摂南大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒573-0101

大阪府枚方市長尾峠町45番1号 (〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17番8号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クレ テツオ) 久禮 哲郎 (平成26年1月)		
学長	(ヤギ キイチロウ) 八木 紀一郎 (平成27年11月)	(オギタ キョカズ) 荻田 喜代一 (令和元年11月)	任期満了に伴う交代。 令和元年11月1日 (2)
学部長	(クボ ヤスユキ) 久保 康之 (令和2年4月)		
学科長等	(キタ タイゾウ) 喜多 大三 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」) でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合 (令和2年度までの5年間) ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学 (大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称 (学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 食品栄養学科 学士 (農学)	農学関係 家政関係	年 4	人 80	年次 人 -	人 320	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止 (予定)」と記載してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学 定員超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学 定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 80 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.90倍	-	
志願者数	1,673 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	1,515 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	506 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	72 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.90										

- (注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	人 72 [-] (-)	人 - [-] (-)	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()		
2年次	/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()		
3年次			/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	
4年次					/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()
計			人 72 [-] (-)	人 [] ()			人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()

・令和2年5月1日 公表

(注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	72人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0人		0人	0人	

(注) ・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下 (〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<農学部 食品栄養学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門科目 共通群	農学概論	1前	2			3					兼12
	農学基礎演習	1通	1								兼6
	グローバル農業演習	2通		2							兼2
	スマート農業演習	3通		1							兼2
	農業気象学	3前		2							兼1
	森林生態学	4前		2							兼1
	農業知的財産	4前		2							兼2
小計(7科目)	—	—	3	9	0	3	0	0	0	0	兼21
専門コア群 基礎系	生物学	1前	2			1					
	生物学演習	1前		1			1				
	化学	1前	2			1					
	化学演習	1前		1			1				
小計(4科目)	—	—	4	2	0	2	2	0	0	0	0
社会・環境と健康	公衆衛生学	2前	2			1					
	健康管理概論	2後	2			1					
	医療福祉論	3前		2		1					
	小計(3科目)	—	—	4	2	0	1	0	0	0	0
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学	1前	2			1					
	臨床医学概論	1後		2		1					
	生化学	1後	2								兼1
	微生物学	1後	2								兼1
	分子生物学	2前		2							兼1
	臨床病態学	2前		2		1					
	運動生理学	2後		2		1					
	薬理学	3前		2		1					
	解剖生理学実習	1前		1		1				1	
	生化学実験	1後		1						1	兼1
	微生物学実験	2前		1						1	兼1
小計(11科目)	—	—	10	9	0	3	0	0	1	1	兼3
食べ物と健康	食品学総論	1前	2			1					
	食品学各論	1後	2			1					
	食品衛生学	1後	2				1				
	食品加工学	2前		2		1					
	調理学	1前	2			1					
	食品学実験 I	1前		1		1			1	1	
	食品学実験 II	1後		1		1				1	
	食品衛生学実験	2前		1			1		1	1	
	食品加工学実習	2後		1		1				1	
	調理学実習 I	1前		1		1				2	
	調理学実習 II	1後		1		1				1	
	調理学実習 III	2前		1		1				1	
	小計(12科目)	—	—	13	4	0	3	1	0	1	4
基礎栄養学	基礎栄養学	1後	2			1	1				
	基礎栄養学実習	1後	1			1	1		1		
	小計(2科目)	—	—	3	0	0	1	1	0	1	0
応用栄養学	応用栄養学 I	2前	2				1				
	応用栄養学 II	2後	2			1					
	応用栄養学 III	3前		2		2					
	応用栄養学実習	3前		1		1	1			1	
小計(4科目)	—	—	5	2	0	2	2	0	0	1	0
栄養教育論	栄養教育論 I	2後	2					1			
	栄養教育論 II	3前	2					1			
	栄養教育論 III	3後		2				1			
	栄養教育論実習	3後		1				1		1	
小計(4科目)	—	—	5	2	0	0	0	1	0	1	0
臨床栄養学	臨床栄養学 I	2前	2			2					
	臨床栄養学 II	2後		2		1					
	臨床栄養学 III	2後		2		1					
	臨床栄養学 IV	3前		2		1					

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門科目 共通群	農学概論	1前	2			3					兼12
	農学基礎演習	1通	1								兼6
	グローバル農業演習	2通		2							兼2
	スマート農業演習	3通		1							兼2
	農業気象学	3前		2							兼1
	森林生態学	4前		2							兼1
	農業知的財産	4前		2							兼2
小計(7科目)	—	—	3	9	0	3	0	0	0	0	兼21
専門コア群 基礎系	生物学	1前	2			1					
	生物学演習	1前		1			1				
	化学	1前	2			1					
	化学演習	1前		1			1				
小計(4科目)	—	—	4	2	0	2	2	0	0	0	0
社会・環境と健康	公衆衛生学	2前	2			1					
	健康管理概論	2後	2			1					
	医療福祉論	3前		2		1					
	小計(3科目)	—	—	4	2	0	1	0	0	0	0
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学	1前	2			1					
	臨床医学概論	1後		2		1					
	生化学	1後	2								兼1
	微生物学	1後	2								兼1
	分子生物学	2前		2							兼1
	臨床病態学	2前		2		1					
	運動生理学	2後		2		1					
	薬理学	3前		2		1					
	解剖生理学実習	1前		1		1				1	
	生化学実験	1後		1						1	兼1
	微生物学実験	2前		1						1	兼1
小計(11科目)	—	—	10	9	0	3	0	0	1	1	兼3
食べ物と健康	食品学総論	1前	2			1					
	食品学各論	1後	2			1					
	食品衛生学	1後	2				1				
	食品加工学	2前		2		1					
	調理学	1前	2			1					
	食品学実験 I	1前		1		1			1	1	
	食品学実験 II	1後		1		1				1	
	食品衛生学実験	2前		1			1		1	1	
	食品加工学実習	2後		1		1				1	
	調理学実習 I	1前		1		1				2	
	調理学実習 II	1後		1		1				1	
	調理学実習 III	2前		1		1				1	
	小計(12科目)	—	—	13	4	0	3	1	0	1	4
基礎栄養学	基礎栄養学	1後	2			1	1				
	基礎栄養学実習	1後	1			1	1		1		
	小計(2科目)	—	—	3	0	0	1	1	0	1	0
応用栄養学	応用栄養学 I	2前	2				1				
	応用栄養学 II	2後	2			1					
	応用栄養学 III	3前		2		2					
	応用栄養学実習	3前		1		1	1			1	
小計(4科目)	—	—	5	2	0	2	2	0	0	1	0
栄養教育論	栄養教育論 I	2後	2					1			
	栄養教育論 II	3前	2					1			
	栄養教育論 III	3後		2				1			
	栄養教育論実習	3後		1				1		1	
小計(4科目)	—	—	5	2	0	0	0	1	0	1	0
臨床栄養学	臨床栄養学 I	2前	2			2					
	臨床栄養学 II	2後		2		1					
	臨床栄養学 III	2後		2		1					
	臨床栄養学 IV	3前		2		1					

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職課程の設置により開設する授業科目	学校栄養指導論Ⅰ	3前			2			1				
	学校栄養指導論Ⅱ	3後			2			1				
	教育原理	2前又は後			2							兼1
	教師論	1前			2							兼1
	教育経営論	3前又は後			2							兼1
	教育社会学	3前又は後			2							兼1
	教育心理学	1前又は後			2							兼1
	特別支援教育論	3前又は後			2							兼1
	教育課程論	2前又は後			2							兼1
	道徳教育論	3前又は後			2							兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	1前又は後			2							兼1
	教育方法論	2前又は後			2							兼1
	生徒指導論(進路指導を含む)	2前又は後			2							兼1
	教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	3前又は後			2							兼1
	栄養教育実習Ⅰ	3後			1				1			
	栄養教育実習Ⅱ	4通			1				1			
	教職実践演習(栄養教諭)	4後			2				1			兼1
小計(17科目)	—	—	0	0	30	0	0	1	0	0	0	兼6
合計(172科目)	—	—	70	177	32	10	4	2	2	4	兼76	

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、必修科目70単位、選択科目54単位以上の合計124単位以上修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。

【履修方法】

1 専門科目の履修方法

必修科目64単位、選択科目34単位以上、合計98単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。

- (1) 専門コア群から66単位以上(必修54単位を含む)を修得。
- (2) 専門総合群から12単位以上(農業生産系、応用生物系、食農ビジネス系から各4単位以上を含む)を修得。

2 教養科目の履修方法

必修科目6単位、選択科目20単位以上、合計26単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。

- (1) 語学系から6単位以上を修得。
- (2) 人文系から2単位以上を修得。
- (3) 社会系から2単位以上を修得。
- (4) 自然系から4単位以上(必修2単位を含む)を修得。

(履修科目の登録上の上限:48単位(年間))

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職課程の設置により開設する授業科目	学校栄養指導論Ⅰ	3前			2			1				
	学校栄養指導論Ⅱ	3後			2			1				
	教育原理	2前又は後			2							兼1
	教師論	1前			2							兼1
	教育経営論	3前又は後			2							兼1
	教育社会学	3前又は後			2							兼1
	教育心理学	1前又は後			2							兼1
	特別支援教育論	3前又は後			2							兼1
	教育課程論	2前又は後			2							兼1
	道徳教育論	3前又は後			2							兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	1前又は後			2							兼1
	教育方法論	2前又は後			2							兼1
	生徒指導論(進路指導を含む)	2前又は後			2							兼1
	教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	3前又は後			2							兼1
	栄養教育実習Ⅰ	3後			1				1			
	栄養教育実習Ⅱ	4通			1				1			
	教職実践演習(栄養教諭)	4後			2				1			兼1
小計(17科目)	—	—	0	0	32	0	0	1	0	0	0	兼6
合計(172科目)	—	—	70	177	32	10	4	2	2	4	兼86	

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、必修科目70単位、選択科目54単位以上の合計124単位以上修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。

【履修方法】

1 専門科目の履修方法

必修科目64単位、選択科目34単位以上、合計98単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。

- (1) 専門コア群から66単位以上(必修54単位を含む)を修得。
- (2) 専門総合群から12単位以上(農業生産系、応用生物系、食農ビジネス系から各4単位以上を含む)を修得。

2 教養科目の履修方法

必修科目6単位、選択科目20単位以上、合計26単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。

- (1) 語学系から6単位以上を修得。
- (2) 人文系から2単位以上を修得。
- (3) 社会系から2単位以上を修得。
- (4) 自然系から4単位以上(必修2単位を含む)を修得。

(履修科目の登録上の上限:48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ② 授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士養成課程認定申請の対応時において、教育課程の体系の一部見直しによる変更。 「薬理学」の配当年次を「3前」から「2後」へ、「臨床栄養学Ⅲ」の配当年次を「2後」から「3前」へ、「臨床栄養学Ⅳ」の配当年次を「3前」から「3後」へ、「栄養薬理学」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。[令和元年11月1日 文科省事務相談済] ・教養科目のうち、全学共通の科目①～③において一部内容を変更。 <ul style="list-style-type: none"> ①少人数教育推進のため、「日本語表現法」「基礎英語Ⅰa」「基礎英語Ⅰb」「基礎英語Ⅱa」「基礎英語Ⅱb」「教養数学」の兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ②広く学習機会を提供するため、「海外語学研修」の配当年次を「2前」から「1・2・3・4通」に変更。 ③学部単位を学科単位での開講に改編したことに伴い、「スポーツ科学Ⅰ」「スポーツ科学Ⅱ」の兼任・兼担の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
--

(注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
42科目	113科目	17科目	172科目	42科目	113科目	17科目	172科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{172} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【校舎敷地】 分筆による減少 (△0.72 m ²)。 (2)		
	校舎敷地	133,444.11 133,444.83 m ²	0 m ²	0 m ²	133,444.11 133,444.83 m ²			
	運動場用地	191,234.28 m ²	0 m ²	0 m ²	191,234.28 m ²			
	小 計	324,678.39 324,679.11 m ²	0 m ²	0 m ²	324,678.39 324,679.11 m ²			
	そ の 他	24,632.60 m ²	0 m ²	0 m ²	24,632.60 m ²			
	合 計	349,310.99 349,311.71 m ²	0 m ²	0 m ²	349,310.99 349,311.71 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	登記による校舎等面積の変更 (△90.54 m ²)。(2)			
	132,471.12 132,561.66 m ²	0 m ²	0 m ²	132,471.12 132,561.66 m ²				
	(132,471.12) (132,561.66 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(132,471.12) (132,561.66 m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 【講義室、演習室、実験実習室、 情報処理学習施設】 用途変更による増減。教育研究 活動に支障はない。(2) 【情報処理学習施設・語学学習 施設補助職員】サポート体制充 実のため変更。(2)		
	73 72 室	99 52 室	106 99 室	15 16 室 8 (補助職員 0人)	34 室 3 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		食品栄養学科の講師について は、2名で教員室1室を利用 助教・助手については、複数 人で助手室(3室)を利用		
	農学部 農業生産学科			13 室				
	農学部 応用生物科学科			13 室				
	農学部 食品栄養学科			16 室				
	農学部 食農ビジネス学科			12 室				
(5) 図書・設備	新設学部等 の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分 図書：525,861 515,847 冊 〔191,988冊〕〔191,204冊〕 新規購入による増。(2) 学術雑誌：3,911 3,282 種 〔2,782種〕〔2,191種〕 新規購入による増。(2) 視聴覚資料：11,304 12,222 点 旧式記憶媒体で再生不可能な資 料を廃棄したための減少。代替 資料を所蔵し教育研究活動に支 障はない。(2)
	農学部 農業生産学科	2,150 [250] (1,820 [220])	27 [11] 26 [10] (26 [10])	9 [9] (9 [9])	17 (17)	3,273	9	
	応用生物科学科	2,150 [250] (1,820 [220])	11 [6] (11 [6])	5 [5] (5 [5])	12 (12)	(3,197)	(0)	
	食品栄養学科	2,840 [240] (2,300 [200])	22 [7] 22 [5] (22 [5])	5 [5] (5 [5])	9 (9)	1,767 (1,765)	17 (17)	
	食農ビジネス学科	2,980 [280] (2,320 [220])	25 [8] 23 [6] (23 [6])	4 [4] (4 [4])	21 (21)	1,041 (1,041)	0 (0)	
	農学部/薬学部/看護学部	0 [0] (0 [0])	0 [0] (0 [0])	0 [0] (0 [0])	0 (0)	6,088 (6,088)	0 (0)	
	計	10,120 [1,020] (8,260 [860])	85 [32] 82 [27] (82 [27])	23 [23] (23 [23])	59 (59)	12,169 (12,091)	26 (17)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数			大学全体 【図書館面積】 倉庫増加および専用面積の見直しによる変更 (+61.40 m ²)。 (2) 【閲覧座席数】 改修工事に伴う配置変更による減少。利用上の支障なし。(2) 【収納可能冊数】 書架の増設による収納スペース増加[基礎計算を文科省学術情報基盤調査と同基準の25冊/段(90cm)で算出]。(2) 【体育館面積】 登記による面積の変更(△15.04 m ²)。(2)
	8,230.45 8,169.05 -m ²		1,163 1,176 席		635,945 639,170 冊			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					申請学部全体 図書購入費には、電子ジャーナルの利用料を含む
	7,401.43 7,416.47 -m ²		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	2,035千円	2,035千円	図書購入費	63,167千円	14,123千円	10,000千円
	共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	1,809,854千円	126,983千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	農業生産学科	1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—千円	—千円	
	応用生物科学科	1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—千円	—千円	
	食品栄養学科	1,680千円	1,530千円	1,530千円	1,530千円	—千円	—千円	
	食農ビジネス学科	1,350千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	摂南大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC学)のみのみ	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
薬学研究科 博士課程	4	4	—	16	—	0.62	0.50	—	平成24	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
医療薬学専攻	4	4	—	16	博士(薬学)	0.62	0.50	—	平成24		
理工学研究科 博士前期課程	2	34	—	68	—	0.74	0.67	—	平成元	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
社会開発工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.91	0.83	—	平成元		
生産開発工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.66	0.50	—	平成26	同上	
生命科学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	0.65	0.70	—	平成26	同上	
理工学研究科 博士後期課程	3	4	—	12	—	0.33	0.75	—	平成20	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
創生工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	0.00	—	平成20		
生命科学専攻	3	2	—	6	博士(理学)	0.66	1.50	—	平成28	同上	
経済経営学研究科 修士課程	2	10	—	20	—	0.05	0.10	—	平成26	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
経済学専攻	2	5	—	10	修士(経済学)	0.00	0.00	—	平成26		
経営学専攻	2	5	—	10	修士(経営学)	0.10	0.20	—	平成26	同上	
法学研究科 修士課程	2	5	—	10	—	0.50	0.60	—	平成9	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
法律学専攻	2	5	—	10	修士(法学)	0.50	0.60	—	平成9		
国際言語文化研究科 修士課程	2	5	—	10	—	0.20	0.20	—	平成11	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
国際言語文化専攻	2	5	—	10	修士(文学)	0.20	0.20	—	平成11		
看護学研究科 修士課程	2	6	—	12	—	0.75	1.00	—	平成28	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
看護学専攻	2	6	—	12	修士(看護学)	0.75	1.00	—	平成28		
大学院全体	—	68	—	148	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	摂南大学										備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更期間(AC学のみ)	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			
理工学部	4	500	3年次30	2,060	—	1.02	1.03	—	昭和50	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
生命科学科	4	90	3年次5	370	学士(理学)	1.03	1.13	—	平成22			
住環境デザイン学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.00	0.94	—	平成22		同上	
建築学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.05	1.10	—	昭和50		同上	
機械工学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.01	1.00	—	昭和50		同上	
電気電子工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.04	1.06	—	昭和50		同上	
都市環境工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.01	0.94	—	平成22		同上	
外国語学部	4	220	3年次5	890	—	1.06	1.05	—	昭和57	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
外国語学科	4	220	3年次5	890	学士(文学)	1.06	1.05	—	昭和57			
経営学部	4	270	3年次8	1,096	—	1.07	1.05	—	昭和57	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
経営学科	4	170	3年次4	688	学士(経営学)	1.07	1.00	—	平成18			
経営情報学科	4	100	3年次4	408	学士(経営学)	1.09	1.14	—	昭和57		同上	
薬学部	6	220	—	1,320	—	1.03	1.05	—	平成18	大阪府枚方市長尾岬町45番1号		
薬学科(6年制)	6	220	—	1,320	学士(薬学)	1.03	1.05	—	平成18			
法学部	4	250	3年次5	1,010	—	1.04	1.05	—	昭和63	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
法律学科	4	250	3年次5	1,010	学士(法学)	1.04	1.05	—	昭和63			
経済学部	4	250	3年次4	1,008	—	1.05	1.08	—	平成22	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
経済学科	4	250	3年次4	1,008	学士(経済学)	1.05	1.08	—	平成22			
看護学部	4	100	—	400	—	1.03	1.10	—	平成24	大阪府枚方市長尾岬町45番1号		
看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.03	1.10	—	平成24			
<u>農学部</u>	4	340	—	340	—	0.95	0.95	令和2	令和2	大阪府枚方市長尾岬町45番1号	令和2年度学部設置	
<u>農業生産学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.98	0.98	令和2	令和2			
<u>応用生物科学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.96	0.96	令和2	令和2			同上
<u>食品栄養学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.90	0.90	令和2	令和2			同上
<u>食農ビジネス学科</u>	4	100	—	100	学士(農学)	0.97	0.97	令和2	令和2			同上
大学全体	—	2,150	3年次52	8,124	—	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	大阪工業大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更(AC学)のみの年度	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
工学研究科 博士前期課程	2	110	—	220	—	1.12	1.04	—	昭和40	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
建築・都市デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	0.88	0.83	—	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.20	1.16	—	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.23	1.06	—	平成29	同上	
工学研究科 博士後期課程	3	6	—	18	—	0.88	1.16	—	昭和42	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	平成29年度学生募集停止
都市デザイン工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年度学生募集停止
生体医工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成19	同上	平成29年度学生募集停止
電気電子工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年度学生募集停止
建築・都市デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.66	1.00	—	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	1.00	1.00	—	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	1.00	1.50	—	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士前期課程	2	30	—	60	—	1.18	1.13	—	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.18	1.13	—	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.16	0.00	—	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.16	0.00	—	平成29	同上	
情報科学研究科 博士前期課程	2	40	—	80	—	1.02	1.22	—	平成12	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	
情報科学専攻	2	40	—	80	修士(情報学)	1.02	1.22	—	平成12	同上	
情報科学研究科 博士後期課程						0.00	0.00		平成14	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	
情報科学専攻	3	5	—	15	博士(情報学)	0.00	0.00	—	平成14	同上	
知的財産研究科 専門職学位課程	2	30	—	60	—	1.11	1.16	—	平成17	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
知的財産専攻	2	30	—	60	知的財産修士(専門職)	1.11	1.16	—	平成17	同上	
大学院全体	—	223	—	459	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	大阪工業大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC学科のみ)	開設年度	所在地	
工学部	4年	900人	3年次40人	3,680人	—	1.01倍	1.07倍	—	昭和24年度	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	平成29年度定員変更90→100(+10)
都市デザイン工学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.01	1.05	—	昭和24	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止
空間デザイン学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18	同上	平成29年度定員変更140→150(+10)
建築学科	4	150	3年次5	610	学士(工学)	1.02	0.99	—	昭和24	同上	平成29年度定員変更130→140(+10)
機械工学科	4	140	3年次5	570	学士(工学)	0.98	1.07	—	昭和25	同上	平成29年度定員変更—
ロボット工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成22	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止
電気電子システム工学科	4	125	3年次5	510	学士(工学)	1.01	1.12	—	昭和24	同上	平成29年度定員変更115→125(+10)
電子情報システム工学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.05	1.19	—	昭和34	同上	平成29年度定員変更100→110(+10)
応用化学科	4	130	3年次5	530	学士(工学)	0.99	1.02	—	昭和33	同上	平成29年度定員変更70→75(+5)
環境工学科	4	75	3年次5	310	学士(工学)	1.03	1.10	—	平成18	同上	平成29年度定員変更65→70(+5)
生命工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.00	1.08	—	平成22	同上	平成29年度学部設置
ロボティクス&デザイン工学部	4	280	3年次15	1,150	—	1.04	1.12	平成29	平成29	同上	
ロボット工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.02	1.08	平成29	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
システムデザイン工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.07	1.14	平成29	平成29	同上	
空間デザイン学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.03	1.14	平成29	平成29	同上	
情報科学部	4	420	3年次20	1,720	—	1.00	1.06	—	平成8	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	平成29年度定員変更95→105(+10)
情報知能学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.97	1.07	—	平成8	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
情報システム学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.98	1.04	—	平成8	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
情報メディア学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.02	1.06	—	平成14	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
ネットワークデザイン学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.02	1.08	—	平成19	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
知的財産学部	4	140	3年次10	580	—	1.06	1.08	—	平成15	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
知的財産学科	4	140	3年次10	580	学士(知的財産学)	1.06	1.08	—	平成15	同上	
大学全体	—	1,740	3年次85	7,130	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	広島国際大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更(AC学)のみの年度	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
看護学研究科 博士前期課程	2	10	—	20	—	0.00	0.00	—	平成15	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
看護学専攻	2	10	—	20	修士 (看護学)	0.00	0.00	—	平成15	同上	
看護学研究科 博士後期課程	3	3	—	9	—	0.00	0.00	—	平成24	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.00	0.00	—	平成24	同上	
医療・福祉科学研究科 博士前期課程	2	10	—	20	—	1.30	1.30	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療工学専攻	2	10	—	20	修士 (医療工学)	1.30	1.30	—	平成21	同上	
医療・福祉科学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.66	0.00	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療工学専攻	3	2	—	6	博士 (医療工学)	0.66	0.00	—	平成21	同上	
医療・福祉科学研究科 修士課程	2	10	—	20	—	0.30	0.30	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療福祉学専攻	2	5	—	10	修士 (医療福祉学)	0.30	0.20	—	平成21	同上	
医療経営学専攻	2	5	—	10	修士 (医療経営学)	0.30	0.40	—	平成21	同上	
心理科学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.00	0.00	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
臨床心理学専攻	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.00	0.00	—	平成21	同上	
心理科学研究科 専門職学位課程	2	20	—	40	—	0.65	0.60	—	平成21	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
実践臨床心理学専攻	2	20	—	40	臨床心理修士 (専門職)	0.65	0.60	—	平成21	同上	
薬学研究科 博士課程	4	2	—	8	—	0.62	0.00	—	平成24	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
医療薬学専攻	4	2	—	8	博士 (薬学)	0.62	0.00	—	平成24	同上	
大学院全体	—	59	—	129	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	広島国際大学										備考
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
保健医療学部	4	220	—	820	—	1.05	1.07	—	平成10	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
診療放射線学科	4	70	—	280	学士 (診療放射線学)	1.11	1.18	—	平成10		
医療技術学科 臨床工学専攻 臨床検査学専攻	4	100	—	490	学士 (臨床工学) (臨床検査学)	0.99	0.93	令和2	平成25	同上	令和2年度定員変更 130→100(-30)
救急救命学科	4	50	—	50	学士 (救急救命学)	1.22	1.22	令和2	令和2	同上	令和2年度学科設置
総合リハビリテーション学部	4	180	—	660	—	1.07	1.06	—	平成25	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻 言語聴覚療法専攻 義肢装具学専攻	4	180	—	570	学士 (理学療法) (作業療法) (言語聴覚療法) (義肢装具学)	1.12	1.06	令和2	平成25		令和2年度定員変更 130→180(+50)
リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻	4	—	—	90	学士 (義肢装具学)	—	—	—	平成25	同上	令和2年度学生募集停止
医療福祉学部	4	—	3年次 10	320	—	—	—	—	平成10	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻	4	—	3年次 10	320	学士 (医療福祉学)	—	—	—	平成10		令和4年度3年次編入学 募集停止
医療経営学部	4	—	—	270	—	—	—	—	平成23	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
医療経営学科	4	—	—	270	学士 (医療経営学)	—	—	—	平成23		
心理科学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成13	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	平成27年度学生募集停止
臨床心理学科	4	—	—	—	学士 (臨床心理学)	—	—	—	平成13		平成29年度3年次編入学 募集停止
心理学部	4	—	3年次 10	290	—	—	—	—	平成27	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
心理学科	4	—	3年次 10	290	学士 (心理学)	—	—	—	平成27		令和4年度3年次編入学 募集停止
看護学部	4	120	3年次 10	500	—	1.05	1.07	—	平成15	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	
看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.05	1.07	—	平成15		
薬学部	6	120	—	720	—	0.84	0.98	—	平成18	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	
薬学科(6年制)	6	120	—	720	学士 (薬学)	0.84	0.98	—	平成18		
医療栄養学部	4	—	—	180	—	—	—	—	平成26	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	令和2年度学生募集停止
医療栄養学科	4	—	—	180	学士 (医療栄養学)	—	—	—	平成26		

大学の名称	広島国際大学										備考
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
<u>健康科学部</u>	4	350	—	350	—	0.76	0.76	令和2	令和2		令和2年度学部設置
<u>医療福祉学科</u> <u>医療福祉学専攻</u> <u>介護福祉学専攻</u> <u>保育福祉学専攻</u>	4	100	—	100	学士 (医療福祉学)	0.49	0.49	令和2	令和2	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
<u>医療経営学科</u>	4	90	—	90	学士 (医療経営学)	0.83	0.83	令和2	令和2	同上	
<u>心理学科</u>	4	100	—	100	学士 (心理学)	0.83	0.83	令和2	令和2	同上	
<u>医療栄養学科</u>	4	60	—	60	学士 (医療栄養学)	1.01	1.01	令和2	令和2	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
<u>健康スポーツ学部</u>	4	70	—	70	—	1.08	1.08	令和2	令和2	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	令和2年度学部設置
<u>健康スポーツ学科</u>	4	70	—	70	学士 (健康スポーツ学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
大学全体	—	1,060	3年次 30	4,180	—	—	—	—	—	—	—

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・ 本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引（令和3年度開設用）」と同じです。
 - ・ 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
認可時 (令和元年)	<p>・将来において、留学生を受け入れる際には、日本語能力や経費支弁能力の確認、在籍管理、入学後の履修指導や生活指導などに係る適切な体制を構築すること。(農業生産学科、応用生物科学科、食品栄養学科)</p>	<p>遵守事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人留学生の日本語能力の確認については、本大学入試部にて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・出願時、出願書類（日本語）にて志望理由、入学後の学修計画、卒業後の進路目標を記載させている。また、4技能のレベルを「日本語能力認定書（本大学所定様式）」にて、日本語講師等に確認している。 ・日本語で学科試験を課すほか、面接にて日本語能力を確認している。 ○経費支弁能力については、入学後に生活状況調査票にて経済状況の確認を行ったうえで、必要に応じて各種奨学金の紹介を行っている。 ○外国人留学生の受入管理については、本大学国際交流センターにて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍管理は、同センター事務職員が毎月1回、在籍確認簿に署名をさせ、修学に係る相談及びアドバイス等を行っている。 ・入学後の履修指導・生活指導は、毎年1回、事前に留学生に生活状況調査票（卒業後の進路希望の有無、通学方法、経済状況、アルバイトの有無等）の作成に加え、学業成績表、学内奨学金申請書等を提出させたうえで、同センター運営委員（教員）及び事務職員が面接を行い、併せて日本語能力の状況確認を行っている。 	履行済	該当なし
	<p>・将来において、留学生を受け入れる際には、日本語能力や経費支弁能力の確認、在籍管理、入学後の履修指導や生活指導などに係る適切な体制を構築すること。また、外国人留学生入試で受験生に課す試験科目は、設置の趣旨と必要性の書類では「日本語、数学（予定）」だが、審査意見への対応を記載した書類では、「日本語、生物（予定）」と記載されているため、記載内容を整合すること。(食農ビジネス学科)</p>	<p>遵守事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人留学生の日本語能力の確認については、本大学入試部にて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・出願時、出願書類（日本語）にて志望理由、入学後の学修計画、卒業後の進路目標を記載させている。また、4技能のレベルを「日本語能力認定書（本大学所定様式）」にて、日本語講師等に確認している。 ・日本語で学科試験を課すほか、面接にて日本語能力を確認している。 ○経費支弁能力については、入学後に生活状況調査票にて経済状況の確認を行ったうえで、必要に応じて各種奨学金の紹介を行っている。 ○外国人留学生の受入管理については、国際交流センターにて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍管理は、同センター事務職員が毎月1回、在籍確認簿に署名をさせ、修学に係る相談及びアドバイス等を行っている。 ・入学後の履修指導・生活指導は、毎年1回、事前に留学生に生活状況調査票（卒業後の進路希望の有無・通学方法・経済状況・アルバイトの有無等）の作成に加え、学業成績表・学内奨学金申請書等を提出させたうえで、同センター運営委員（教員）及び事務職員が面接を行い、併せて日本語能力の状況確認を行っている。 <p>また、当該入試における受験科目については、設置の趣旨と必要性の書類に記載のとおり、「日本語、数学」で周知を行っている。</p>	履行済	該当なし
	<p>・専門学科・総合学科推薦入試において、アドミッション・ポリシーに掲げる化学、数学、国語の基礎知識を身に付</p>	<p>助言事項</p> <p>アドミッション・ポリシーは、各学部・学科ごとに定めており、入試ガイド、入試要項、AO入試リーフレット並びに本大学ホームページに掲載するとともに、高等学校・予備校・進学相談会等での学生募集活動において、広く学内外に周知している。</p> <p>そのうえで、入学志願者に対し当該入試の出願資格、</p>	履行済	該当なし

区分	附帯事項等		履行状況		今後の実施計画																																							
	<p>けていることについては、「出身学校の調査書」等により総合的に判断するとしていることについて、入学志願者に明確に示すことが望ましい。(食品栄養学科)</p>		<p>選考方法等として、入試要項、入試ガイド等の各種印刷物および本大学ホームページにて周知を行っている。</p>																																									
	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(農業生産学科、食品栄養学科、食農ビジネス学科)</p>	遵守事項	<p>学校法人常翔学園就業規則において定年退職年齢を満64歳と定めている。64歳を超える者に対しては、「学校法人常翔学園 特任教員規定」により、満70歳を超えない期間まで特任教員（専任教員）として採用することができることから、本規定を適用し対応する。</p> <p>当該学科の教員組織の将来構想は、以下の方針により教員配置計画を進めていく。</p> <p>①当該学科の専任教員数（農業生産学科:15人、食品栄養学科:18人、食農ビジネス学科:12人）の水準を下回ることなく、維持または必要に応じ増員により、教育研究に支障が生じることのないよう対応する。</p> <p>②定年等により退職する教員については、手続きにおいて遺漏のないよう、学内からの補充・昇格または学外からの新規採用により、同等の職位の教員を後任として配置する。学内昇格による補充の場合は、同数の講師や助教の若手教員を新たに任用する。</p>	履行中	<p>今後、定年退職年齢未満の教員を採用する予定である。</p>																																							
	<p>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(広島国際大学 医療福祉学部 医療福祉学科)</p>	助言事項	<p>○広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科の定員充足率について</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・入学者数は、各年度5月1日現在</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率 (倍)</th> <th>平均入学定員 超過率 (倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>100</td> <td>305</td> <td>247</td> <td>70</td> <td>0.70</td> <td rowspan="4">0.60</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>100</td> <td>230</td> <td>184</td> <td>56</td> <td>0.56</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>100</td> <td>251</td> <td>194</td> <td>66</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 (平成31年度)</td> <td>100</td> <td>216</td> <td>189</td> <td>51</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td colspan="6">学生募集停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学部においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている。平成30年度以降は「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。</p> <p>具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。</p> <p>なお、本学部については、令和2年4月に学生募集を停止し、既存の学科を含めた1学部4学科（健康科学部：医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科）構成への改組を行った。</p> <p style="text-align: right;">以上 (2)</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率 (倍)	平均入学定員 超過率 (倍)	平成28年度	100	305	247	70	0.70	0.60	平成29年度	100	230	184	56	0.56	平成30年度	100	251	194	66	0.66	令和元年度 (平成31年度)	100	216	189	51	0.51	令和2年度	学生募集停止						履行済	該当なし
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率 (倍)	平均入学定員 超過率 (倍)																																						
平成28年度	100	305	247	70	0.70	0.60																																						
平成29年度	100	230	184	56	0.56																																							
平成30年度	100	251	194	66	0.66																																							
令和元年度 (平成31年度)	100	216	189	51	0.51																																							
令和2年度	学生募集停止																																											

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<農学部 食品栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>1) 食品栄養学科 教育課程等の概要「授業期間等」 専門コア群の実験・実習科目（「給食経営管理実習」以外）の1時限の授業時間。</p> <p>2) 入学者選抜の概要 入学者選抜の多様化を図るため、次の選抜を取り入れ、農学部で学ぶに相応しい学生を選抜できるよう計画する。なお、開設初年度の入学者選抜については、認可時期の関係で一部の選抜は実施しない。</p> <p>①特別推薦入試（指定校推薦、内部推薦、高大連携協定校推薦） ②公募制推薦入試 ③一般入試 ④大学入試センター試験利用入試 ⑤専門学科・総合学科推薦入試 ⑥外国人留学生入試</p>	<p>1) 食品栄養学科 教育課程等の概要「授業期間等」 管理栄養士養成施設新規申請に係る厚生労働省との審査過程において教育に適切な時間数を検討した結果、「給食経営管理実習」について、単位数に対応した授業時間数に変更することとした。 他の実験・実習科目と同様に、1回あたり授業時間を180分から135分に変更。</p> <p>2) 入学者選抜の概要 開設2年目については、以下の入学者選抜を追加する。</p> <p>①総合型選抜AO入試 ②帰国生徒入試 ③社会人入試 ④外国人留学生入試（開設初年度は、認可時期の関係により未実施）</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>摂南大学FD委員会及び農学部FD委員会</p> <p>a 委員会の設置状況 教員の教育活動の質的向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、授業内容と授業方法の改善を図ることを目的として、全学組織として摂南大学FD委員会を設置しているほか、令和2年4月に農学部FD委員会を設置した。 （「摂南大学FD委員会規定」については、別紙1を参照）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 農学部FD委員会は各学科専任教員1人（計4人）で構成している。 全学組織である「摂南大学FD委員会」には、「摂南大学FD委員会規定」に基づき、年間9回程度開催している。農学部については、令和2年4月より構成員として2人の委員を選出している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 「摂南大学FD委員会規定」に基づき、教務委員会と連携を図りながら、以下の事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業改善のための基本方針および実施体制に関すること 2. 授業アンケートの実施に関すること 3. 教授方法等の改善のための支援に関すること 4. 各学部および各研究科が行うFDの支援に関すること 5. FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等に関すること 6. その他学長が諮問した事項に関すること
--

② 実施状況

a 実施内容

教育研究に関する教員の資質維持向上を図るため、上記①実施体制(項目c:委員会の審議事項等)に基づいて実施する。

b 実施方法

内容に即し、担当の運営委員会がそれぞれ企画・運営を行う。農学部教授会・学科会議およびEメール・ホームページ等により教職員全員に周知し、できるだけ多くの教員が参加できるように配慮する。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

FD研修会は、農学部全教員を対象として実施予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施予定であるFD活動や授業アンケート、FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等の結果を踏まえて、授業改善に反映していくとともに、教育・研究に関する教員の資質維持向上を図るための体制づくりを推進する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・令和2年度前期・後期授業の各第13～14週目を予定
- ・参加人数:全教員(兼任含む)

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・全学FDは、本大学ホームページの教職員専用ページに公開する。
- ・学生は自らが受講した科目のみアンケート結果を閲覧することができる。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

○摂南大学FD委員会規定

2004年1月13日
学園280

(趣旨)

第1条 この規定は、摂南大学学則第8条第1項および組織規定第72条第1項に定める摂南大学FD委員会(以下「委員会」という)の構成、審議事項に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 委員会は、本学教員の教育活動の質的向上・能力開発(ファカルティ・ディベロップメント、以下「FD」という)に関して恒常的に検討を行い、学部および大学院の授業内容と授業方法の改善を図ることを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

- イ 教務部長
- ロ 教育イノベーションセンター長
- ハ 各学部から選出された者 2名
- ニ その他必要に応じて学長が指名した者

2 前項ハ号の委員には、各学部の学科長および大学院担当教員をそれぞれ1名以上含めるものとする。

(委員の任期)

第4条 前条イ号およびロ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条ハ号の委員の任期は1年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員以外の出席)

第5条 議長は、必要に応じ委員以外の者を出席させることができる。

(審議事項)

第6条 委員会は、学長の諮問に応じて、各学部・研究科と連絡調整するとともに、教務委員会と連携を図りながら、つぎの各号に掲げる事項を審議する。

- イ 授業改善のための基本方針および実施体制に関すること
- ロ 授業アンケートの実施に関すること
- ハ 教授方法等の改善のための支援に関すること
- ニ 各学部および各研究科が行うFDの支援に関すること
- ホ FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等に関すること
- ヘ その他学長が諮問した事項に関すること

(委員長その他職務)

第7条 委員会に、委員長1名および副委員長若干名を置く。

2 委員長は、教務部長をもって充て、副委員長は、委員の中から委員長の意見を聴いて学長が任命する。

3 委員長は、学長の指揮に従い、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

(定足数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

(学長への報告)

第9条 委員長は、審議の経過および結果について議事録の写しを添えて、速やかに学長に報告しなければならない。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、教務部教務課で取り扱う。

(規定の改廃)

第11条 この規定の改廃は、大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長の承認を得て、理事長が行う。

付 則

1 この規定は、2004年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2020年4月1日から施行する。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

農学部は、「総合科学としての農学を支える広範な基礎科学に関する知識・技能をもって、「農」「食」「栄養」に関する社会的諸課題を自ら発見し、主体的に解決する人間性豊かな専門職業人を養成」を目的として設置した。完成年度（令和5年度）に向けて、設置の趣旨・目的の達成を目指す。

各学科の設置の目的（養成する人材像）は以下のとおりである。

<農業生産学科>

農業生産学科は、「生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究し、環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、および新技術の開発・普及に必要な知識・技術を身につけ社会に貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

<応用生物科学科>

応用生物科学科は、「生物・生命の諸現象とその背後にある原理とメカニズムを、分子から個体、集団、生態系を含む視点で深く学び、身につけた広範な知識を基に、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸課題の解決に貢献できる、創造力の豊かな人材を養成」を目的として設置した。

<食品栄養学科>

食品栄養学科は、「農学の学びを基盤として、食のプロセス（農産物の生産から加工・流通・消費まで）を体系的に理解し、食・栄養・健康・医療・食育の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

<食農ビジネス学科>

食農ビジネス学科は、農業や食料、食品産業に関する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に関する社会経済的な諸課題の解決に向けて、それらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和4年6月 公表予定

b 公表方法

大学のホームページ上に公開（令和4年6月予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成28年度に、財団法人日本高等教育評価機構で大学機関別認証評価を受審し、平成29年3月に適合の認定を受けた。

今回は、令和5年度に同機構による認証評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [(調査結果公表後1ヶ月以内) ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [(ウェブサイトへの掲載) ・ その他 ()]

《 a で「無」の場合》

d 公表しない理由期

[]

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 常翔学園

(2) 大学名

摂南大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒573-0101

大阪府枚方市長尾峠町45番1号（〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17番8号）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クレ テツオ) 久禮 哲郎 (平成26年1月)		
学長	(ヤギ キイチロウ) 八木 紀一郎 (平成27年11月)	(オギタ キョカズ) 荻田 喜代一 (令和元年11月)	任期満了に伴う交代。 令和元年11月1日 (2)
学部長	(クボ ヤスユキ) 久保 康之 (令和2年4月)		
学科長等	(オノ マサユキ) 小野 雅之 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称 (学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 食農ビジネス学科 学士 (農学)	農学関係 経済学関係	年 4	人 100	年次 人 -	人 400	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止 (予定)」と記載してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学 定員超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学 定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 100 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.97倍	-	
志願者数	2,306 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	2,002 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	863 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	97 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.97										

- (注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	人 97 [-] (-)	人 - [-] (-)	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()		
2年次	/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()		
3年次			/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	
4年次					/		人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()
計			人 97 [-] (-)	人 [] ()			人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()	人 [] ()

・令和2年5月1日 公表

(注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	97人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0人		0人	0人	

(注) ・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下 (〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{97} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	単位	教授	准授	講師	助教	
教養科目	社会学	1後	2								兼1
	日本国憲法	2前	2								兼1
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	兼7
自然系	教養数学	1前	2								兼1
	生命倫理	1後	2								兼1
	生物と環境	2前	2								兼1
	地学	3前	2								兼1
	地学実験	3前	2								兼2
	小計(5科目)	—	2	8	0	0	0	0	0	0	兼6
キャリア系	キャリアデザインⅠ	1前	1								兼1
	キャリアデザインⅡ	2後	1								兼1
	数的能力開発	2後	1								兼1
	インターンシップ	3通	2								兼1
	小計(4科目)	—	1	4	0	0	0	0	0	0	兼2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	1・2・3・4前	2								兼1
	日本事情FⅡ	1・2・3・4後	2								兼1
	日本語読解FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語読解FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	日本語文法FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語文法FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	日本語表現作文FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語表現作文FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	日本語総合FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語総合FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	専門日本語FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	専門日本語FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	日本語会話FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語会話FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
小計(14科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼4	
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	1・2・3・4前	2								兼1
	日本事情RⅡ	1・2・3・4後	2								兼1
	日本語読解R	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語文法R	1・2・3・4後	1								兼1
	日本語表現作文R	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語総合R	1・2・3・4後	1								兼1
	専門日本語R	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語会話R	1・2・3・4後	1								兼1
小計(8科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	兼4	
合計(136科目)	—	48	189	0	7	4	1	0	0	兼66	

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、必修科目48単位、選択科目76単位以上の合計124単位以上修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。

【履修方法】

1 専門科目の履修方法

必修科目42単位、選択科目56単位以上、合計98単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。

- 専門コア群から48単位以上(必修22単位を含む)を修得。
- 専門コア群の「食農ビジネス実践論」「食品産業経営戦略論」「農村コミュニティビジネス論」の3科目から2単位を修得。
- 専門コア群の「マクロ経済学」「食料・農業経済学」「食料・農業・農村政策論」「農業経営管理論」「食品産業論」「食料・農業市場論」「循環型農業論」「食農教育論」の8科目から10単位以上を修得。
- 専門総合群から20単位以上(農業生産系、応用生物系、食品栄養系科目から各4単位以上を含む)を修得。

2 教養科目の履修方法

必修科目6単位、選択科目20単位以上、合計26単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。

- 語学系から6単位以上を修得。
- 人文系から2単位以上を修得。
- 社会学系から2単位以上を修得。
- 自然系から4単位以上(必修2単位を含む)を修得。

(履修科目の登録上の上限:48単位(年間))

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	単位	教授	准授	講師	助教	
教養科目	社会学	1後	2								兼1
	日本国憲法	2前	2								兼1
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	兼7
自然系	教養数学	1前	2								兼2
	生命倫理	1後	2								兼1
	生物と環境	2前	2								兼1
	地学	3前	2								兼1
	地学実験	3前	2								兼2
	小計(5科目)	—	2	8	0	0	0	0	0	0	兼7
キャリア系	キャリアデザインⅠ	1前	1								兼1
	キャリアデザインⅡ	2後	1								兼1
	数的能力開発	2後	1								兼1
	インターンシップ	3通	2								兼1
	小計(4科目)	—	1	4	0	0	0	0	0	0	兼2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	1・2・3・4前	2								兼1
	日本事情FⅡ	1・2・3・4後	2								兼1
	日本語読解FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語読解FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	日本語文法FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語文法FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	日本語表現作文FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語表現作文FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	日本語総合FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語総合FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	専門日本語FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	専門日本語FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
	日本語会話FⅠ	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語会話FⅡ	1・2・3・4後	1								兼1
小計(14科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼6	
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	1・2・3・4前	2								兼1
	日本事情RⅡ	1・2・3・4後	2								兼1
	日本語読解R	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語文法R	1・2・3・4後	1								兼1
	日本語表現作文R	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語総合R	1・2・3・4後	1								兼1
	専門日本語R	1・2・3・4前	1								兼1
	日本語会話R	1・2・3・4後	1								兼1
小計(8科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	兼5	
合計(136科目)	—	48	189	0	7	4	1	0	0	兼78	

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、必修科目48単位、選択科目76単位以上の合計124単位以上修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。

【履修方法】

1 専門科目の履修方法

必修科目42単位、選択科目56単位以上、合計98単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。

- 専門コア群から48単位以上(必修22単位を含む)を修得。
- 専門コア群の「食農ビジネス実践論」「食品産業経営戦略論」「農村コミュニティビジネス論」の3科目から2単位を修得。
- 専門コア群の「マクロ経済学」「食料・農業経済学」「食料・農業・農村政策論」「農業経営管理論」「食品産業論」「食料・農業市場論」「循環型農業論」「食農教育論」の8科目から10単位以上を修得。
- 専門総合群から20単位以上(農業生産系、応用生物系、食品栄養系科目から各4単位以上を含む)を修得。

2 教養科目の履修方法

必修科目6単位、選択科目20単位以上、合計26単位以上を修得すること。ただし、つぎの条件のすべてを満たすものとする。

- 語学系から6単位以上を修得。
- 人文系から2単位以上を修得。
- 社会学系から2単位以上を修得。
- 自然系から4単位以上(必修2単位を含む)を修得。

(履修科目の登録上の上限:48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ② 授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教養科目のうち、全学共通の科目①～③において一部内容を変更。
 - ①少人数教育推進のため、「日本語表現法」「教養数学」の兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼2」に、「基礎英語Ⅰa」「基礎英語Ⅰb」「基礎英語Ⅱa」「基礎英語Ⅱb」の兼任・兼担の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
 - ②広く学習機会を提供するため、「海外語学研修」の配当年次を「2前」から「1・2・3・4通」に変更。
 - ③学部単位を学科単位での開講に改編したことに伴い、「スポーツ科学Ⅰ」「スポーツ科学Ⅱ」の兼任・兼担の配置を「兼4」から「兼2」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
24科目	112科目	0科目	136科目	24科目	112科目	0科目	136科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{136} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【校舎敷地】 分筆による減少 (△0.72 m ²)。 (2)		
	校舎敷地	133,444.11 133,444.83 m ²	0 m ²	0 m ²	133,444.11 133,444.83 m ²			
	運動場用地	191,234.28 m ²	0 m ²	0 m ²	191,234.28 m ²			
	小 計	324,678.39 324,679.11 m ²	0 m ²	0 m ²	324,678.39 324,679.11 m ²			
	そ の 他	24,632.60 m ²	0 m ²	0 m ²	24,632.60 m ²			
	合 計	349,310.99 349,311.71 m ²	0 m ²	0 m ²	349,310.99 349,311.71 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	登記による校舎等面積の変更 (△90.54 m ²)。(2)			
	132,471.12 132,561.66 m ²	0 m ²	0 m ²	132,471.12 132,561.66 m ²				
	(132,471.12) (132,561.66)m²	(0 m ²)	(0 m ²)	(132,471.12) (132,561.66)m²				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 【講義室、演習室、実験実習室、 情報処理学習施設】 用途変更による増減。教育研究 活動に支障はない。(2) 【情報処理学習施設・語学学習 施設補助職員】サポート体制充 実のため変更。(2)		
	73 72 室	99 52 室	106 99 室	15 16 室 8 (補助職員 0人)	34 室 3 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		食品栄養学科の講師について は、2名で教員室1室を利用 助教・助手については、複数 人で助手室(3室)を利用		
	農学部 農業生産学科			13 室				
	農学部 応用生物科学科			13 室				
	農学部 食品栄養学科			16 室				
	農学部 食農ビジネス学科			12 室				
(5) 図書・設備	新設学部等 の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分 図書：525,861 515,847 冊 〔191,988冊〕〔494,204冊〕 新規購入による増。(2) 学術雑誌：3,911 3,282 種 〔2,782種〕〔2,494種〕 新規購入による増。(2) 視聴覚資料：11,304 12,222 点 旧式記憶媒体で再生不可能な資 料を廃棄したための減少。代替 資料を所蔵し教育研究活動に支 障はない。(2) 【学術雑誌】 算出方法の補正(組合せ販売 等)による点数増。金額に変 更なし。(2)
	農学部 農業生産学科	2,150 [250] (1,820 [220])	27 [11] 26 [10] (26 [10])	9 [9] (9 [9])	17 (17)	3,273	9	
	応用生物科学科	2,150 [250] (1,820 [220])	11 [6] (11 [6])	5 [5] (5 [5])	12 (12)	(3,197)	(0)	
	食品栄養学科	2,840 [240] (2,300 [200])	22 [7] 22 [5] (22 [5])	5 [5] (5 [5])	9 (9)	1,767 (1,765)	17 (17)	
	食農ビジネス学科	2,980 [280] (2,320 [220])	25 [8] 23 [6] (23 [6])	4 [4] (4 [4])	21 (21)	1,041 (1,041)	0 (0)	
	農学部/薬学部/看護学部	0 [0] (0 [0])	0 [0] (0 [0])	0 [0] (0 [0])	0 (0)	6,088 (6,088)	0 (0)	
	計	10,120 [1,020] (8,260 [860])	85 [32] 82 [27] (82 [27])	23 [23] (23 [23])	59 (59)	12,169 (12,091)	26 (17)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数			大学全体 【図書館面積】 倉庫増加および専用面積の見直しによる変更 (+61.40 m ²)。 (2) 【閲覧座席数】 改修工事に伴う配置変更による減少。利用上の支障なし。(2) 【収納可能冊数】 書架の増設による収納スペース増加[基礎計算を文科省学術情報基盤調査と同基準の25冊/段(90cm)で算出]。(2) 【体育館面積】 登記による面積の変更(△15.04 m ²)。(2)
	8,230.45 8,169.05 -m ²		1,163 1,176 席		635,945 639,170 冊			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					申請学部全体 図書購入費には、電子ジャーナルの利用料を含む
	7,401.43 7,416.47 -m ²		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	2,035千円	2,035千円	図書購入費	63,167千円	14,123千円	10,000千円
	共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	1,809,854千円	126,983千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	農業生産学科	1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—千円	—千円	
	応用生物科学科	1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—千円	—千円	
	食品栄養学科	1,680千円	1,530千円	1,530千円	1,530千円	—千円	—千円	
	食農ビジネス学科	1,350千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	摂南大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC学)のみのみ	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
薬学研究科 博士課程	4	4	—	16	—	0.62	0.50	—	平成24	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
医療薬学専攻	4	4	—	16	博士(薬学)	0.62	0.50	—	平成24		
理工学研究科 博士前期課程	2	34	—	68	—	0.74	0.67	—	平成元	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
社会開発工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.91	0.83	—	平成元		
生産開発工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.66	0.50	—	平成26	同上	
生命科学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	0.65	0.70	—	平成26	同上	
理工学研究科 博士後期課程	3	4	—	12	—	0.33	0.75	—	平成20	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
創生工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	0.00	—	平成20		
生命科学専攻	3	2	—	6	博士(理学)	0.66	1.50	—	平成28	同上	
経済経営学研究科 修士課程	2	10	—	20	—	0.05	0.10	—	平成26	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
経済学専攻	2	5	—	10	修士(経済学)	0.00	0.00	—	平成26		
経営学専攻	2	5	—	10	修士(経営学)	0.10	0.20	—	平成26	同上	
法学研究科 修士課程	2	5	—	10	—	0.50	0.60	—	平成9	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
法律学専攻	2	5	—	10	修士(法学)	0.50	0.60	—	平成9		
国際言語文化研究科 修士課程	2	5	—	10	—	0.20	0.20	—	平成11	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	
国際言語文化専攻	2	5	—	10	修士(文学)	0.20	0.20	—	平成11		
看護学研究科 修士課程	2	6	—	12	—	0.75	1.00	—	平成28	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
看護学専攻	2	6	—	12	修士(看護学)	0.75	1.00	—	平成28		
大学院全体	—	68	—	148	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	摂南大学										備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更期間(AC学のみ)	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			
理工学部	4	500	3年次30	2,060	—	1.02	1.03	—	昭和50	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
生命科学科	4	90	3年次5	370	学士(理学)	1.03	1.13	—	平成22			
住環境デザイン学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.00	0.94	—	平成22		同上	
建築学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.05	1.10	—	昭和50		同上	
機械工学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.01	1.00	—	昭和50		同上	
電気電子工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.04	1.06	—	昭和50		同上	
都市環境工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.01	0.94	—	平成22		同上	
外国語学部	4	220	3年次5	890	—	1.06	1.05	—	昭和57	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
外国語学科	4	220	3年次5	890	学士(文学)	1.06	1.05	—	昭和57			
経営学部	4	270	3年次8	1,096	—	1.07	1.05	—	昭和57	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
経営学科	4	170	3年次4	688	学士(経営学)	1.07	1.00	—	平成18			
経営情報学科	4	100	3年次4	408	学士(経営学)	1.09	1.14	—	昭和57		同上	
薬学部	6	220	—	1,320	—	1.03	1.05	—	平成18	大阪府枚方市長尾岬町45番1号		
薬学科(6年制)	6	220	—	1,320	学士(薬学)	1.03	1.05	—	平成18			
法学部	4	250	3年次5	1,010	—	1.04	1.05	—	昭和63	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
法律学科	4	250	3年次5	1,010	学士(法学)	1.04	1.05	—	昭和63			
経済学部	4	250	3年次4	1,008	—	1.05	1.08	—	平成22	大阪府寝屋川市池田中町17番8号		
経済学科	4	250	3年次4	1,008	学士(経済学)	1.05	1.08	—	平成22			
看護学部	4	100	—	400	—	1.03	1.10	—	平成24	大阪府枚方市長尾岬町45番1号		
看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.03	1.10	—	平成24			
<u>農学部</u>	4	340	—	340	—	0.95	0.95	令和2	令和2	大阪府枚方市長尾岬町45番1号	令和2年度学部設置	
<u>農業生産学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.98	0.98	令和2	令和2			
<u>応用生物科学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.96	0.96	令和2	令和2			同上
<u>食品栄養学科</u>	4	80	—	80	学士(農学)	0.90	0.90	令和2	令和2			同上
<u>食農ビジネス学科</u>	4	100	—	100	学士(農学)	0.97	0.97	令和2	令和2			同上
大学全体	—	2,150	3年次52	8,124	—	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	大阪工業大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更(AC学)のみの年度	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
工学研究科 博士前期課程	2	110	—	220	—	1.12	1.04	—	昭和40	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
建築・都市デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	0.88	0.83	—	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.20	1.16	—	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.23	1.06	—	平成29	同上	
工学研究科 博士後期課程	3	6	—	18	—	0.88	1.16	—	昭和42	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	平成29年度 学生募集停止
都市デザイン工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年度 学生募集停止
生体医工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成19	同上	平成29年度 学生募集停止
電気電子工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	昭和42	同上	平成29年度 学生募集停止
建築・都市デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.66	1.00	—	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	1.00	1.00	—	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	1.00	1.50	—	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士前期課程	2	30	—	60	—	1.18	1.13	—	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.18	1.13	—	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.16	0.00	—	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.16	0.00	—	平成29	同上	
情報科学研究科 博士前期課程	2	40	—	80	—	1.02	1.22	—	平成12	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	
情報科学専攻	2	40	—	80	修士(情報学)	1.02	1.22	—	平成12	同上	
情報科学研究科 博士後期課程						0.00	0.00		平成14	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	
情報科学専攻	3	5	—	15	博士(情報学)	0.00	0.00	—	平成14	同上	
知的財産研究科 専門職学位課程	2	30	—	60	—	1.11	1.16	—	平成17	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
知的財産専攻	2	30	—	60	知的財産修士(専門職)	1.11	1.16	—	平成17	同上	
大学院全体	—	223	—	459	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	大阪工業大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC学のみ)	開設年度	所在地	
工学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
都市デザイン工学科	4	900	3年次40	3,680	—	1.01	1.07	—	昭和24	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	平成29年度定員変更90→100(+10)
空間デザイン学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.01	1.05	—	昭和24	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止
建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成18	同上	平成29年度定員変更140→150(+10)
機械工学科	4	150	3年次5	610	学士(工学)	1.02	0.99	—	昭和24	同上	平成29年度定員変更130→140(+10)
ロボット工学科	4	140	3年次5	570	学士(工学)	0.98	1.07	—	昭和25	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止
電気電子システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成22	同上	平成29年度定員変更115→125(+10)
電子情報システム工学科	4	125	3年次5	510	学士(工学)	1.01	1.12	—	昭和24	同上	平成29年度定員変更100→110(+10)
応用化学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.05	1.19	—	昭和34	同上	平成29年度定員変更120→130(+10)
環境工学科	4	130	3年次5	530	学士(工学)	0.99	1.02	—	昭和33	同上	平成29年度定員変更70→75(+5)
生命工学科	4	75	3年次5	310	学士(工学)	1.03	1.10	—	平成18	同上	平成29年度定員変更65→70(+5)
ロボティクス&デザイン工学部	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.00	1.08	—	平成22	同上	平成29年度学部設置
ロボット工学科	4	280	3年次15	1,150	—	1.04	1.12	平成29	平成29	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	
システムデザイン工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.02	1.08	平成29	平成29	同上	
空間デザイン学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.07	1.14	平成29	平成29	同上	
情報科学部	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.03	1.14	平成29	平成29	同上	
情報知能学科	4	420	3年次20	1,720	—	1.00	1.06	—	平成8	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	平成29年度定員変更95→105(+10)
情報システム学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.97	1.07	—	平成8	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
情報メディア学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.98	1.04	—	平成8	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
ネットワークデザイン学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.02	1.06	—	平成14	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
知的財産学部	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.02	1.08	—	平成19	同上	平成29年度定員変更95→105(+10)
知的財産学科	4	140	3年次10	580	—	1.06	1.08	—	平成15	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	
知的財産学科	4	140	3年次10	580	学士(知的財産学)	1.06	1.08	—	平成15	同上	
大学全体	—	1,740	3年次85	7,130	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	広島国際大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更(AC学)のみの年度	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
看護学研究科 博士前期課程	2	10	—	20	—	0.00	0.00	—	平成15	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
看護学専攻	2	10	—	20	修士 (看護学)	0.00	0.00	—	平成15	同上	
看護学研究科 博士後期課程	3	3	—	9	—	0.00	0.00	—	平成24	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.00	0.00	—	平成24	同上	
医療・福祉科学研究科 博士前期課程	2	10	—	20	—	1.30	1.30	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療工学専攻	2	10	—	20	修士 (医療工学)	1.30	1.30	—	平成21	同上	
医療・福祉科学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.66	0.00	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療工学専攻	3	2	—	6	博士 (医療工学)	0.66	0.00	—	平成21	同上	
医療・福祉科学研究科 修士課程	2	10	—	20	—	0.30	0.30	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
医療福祉学専攻	2	5	—	10	修士 (医療福祉学)	0.30	0.20	—	平成21	同上	
医療経営学専攻	2	5	—	10	修士 (医療経営学)	0.30	0.40	—	平成21	同上	
心理科学研究科 博士後期課程	3	2	—	6	—	0.00	0.00	—	平成21	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
臨床心理学専攻	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.00	0.00	—	平成21	同上	
心理科学研究科 専門職学位課程	2	20	—	40	—	0.65	0.60	—	平成21	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
実践臨床心理学専攻	2	20	—	40	臨床心理修士 (専門職)	0.65	0.60	—	平成21	同上	
薬学研究科 博士課程	4	2	—	8	—	0.62	0.00	—	平成24	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
医療薬学専攻	4	2	—	8	博士 (薬学)	0.62	0.00	—	平成24	同上	
大学院全体	—	59	—	129	—	—	—	—	—	—	—

大学の名称	広島国際大学										備考
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
保健医療学部	4	220	—	820	—	1.05	1.07	—	平成10	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
診療放射線学科	4	70	—	280	学士 (診療放射線学)	1.11	1.18	—	平成10		
医療技術学科 臨床工学専攻 臨床検査学専攻	4	100	—	490	学士 (臨床工学) (臨床検査学)	0.99	0.93	令和2	平成25	同上	令和2年度定員変更 130→100(-30)
救急救命学科	4	50	—	50	学士 (救急救命学)	1.22	1.22	令和2	令和2	同上	令和2年度学科設置
総合リハビリテーション学部	4	180	—	660	—	1.07	1.06	—	平成25	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	
リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻 言語聴覚療法専攻 義肢装具学専攻	4	180	—	570	学士 (理学療法) (作業療法) (言語聴覚療法) (義肢装具学)	1.12	1.06	令和2	平成25		令和2年度定員変更 130→180(+50)
リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻	4	—	—	90	学士 (義肢装具学)	—	—	—	平成25	同上	令和2年度学生募集停止
医療福祉学部	4	—	3年次 10	320	—	—	—	—	平成10	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻	4	—	3年次 10	320	学士 (医療福祉学)	—	—	—	平成10		令和4年度3年次編入学 募集停止
医療経営学部	4	—	—	270	—	—	—	—	平成23	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
医療経営学科	4	—	—	270	学士 (医療経営学)	—	—	—	平成23		
心理科学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成13	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	平成27年度学生募集停止
臨床心理学科	4	—	—	—	学士 (臨床心理学)	—	—	—	平成13		平成29年度3年次編入学 募集停止
心理学部	4	—	3年次 10	290	—	—	—	—	平成27	広島県東広島市黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止
心理学科	4	—	3年次 10	290	学士 (心理学)	—	—	—	平成27		令和4年度3年次編入学 募集停止
看護学部	4	120	3年次 10	500	—	1.05	1.07	—	平成15	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	
看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.05	1.07	—	平成15		
薬学部	6	120	—	720	—	0.84	0.98	—	平成18	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	
薬学科(6年制)	6	120	—	720	学士 (薬学)	0.84	0.98	—	平成18		
医療栄養学部	4	—	—	180	—	—	—	—	平成26	広島県呉市広古新開五丁目1番1号	令和2年度学生募集停止
医療栄養学科	4	—	—	180	学士 (医療栄養学)	—	—	—	平成26		

大学の名称	広島国際大学										備考
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
<u>健康科学部</u>	4	350	—	350	—	0.76	0.76	令和2	令和2		令和2年度学部設置
<u>医療福祉学科</u> <u>医療福祉学専攻</u> <u>介護福祉学専攻</u> <u>保育福祉学専攻</u>	4	100	—	100	学士 (医療福祉学)	0.49	0.49	令和2	令和2	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
<u>医療経営学科</u>	4	90	—	90	学士 (医療経営学)	0.83	0.83	令和2	令和2	同上	
<u>心理学科</u>	4	100	—	100	学士 (心理学)	0.83	0.83	令和2	令和2	同上	
<u>医療栄養学科</u>	4	60	—	60	学士 (医療栄養学)	1.01	1.01	令和2	令和2	広島県呉市 広古新開 五丁目 1番1号	
<u>健康スポーツ学部</u>	4	70	—	70	—	1.08	1.08	令和2	令和2	広島県 東広島市 黒瀬学園台 555番地36	令和2年度学部設置
<u>健康スポーツ学科</u>	4	70	—	70	学士 (健康スポーツ学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
大学全体	—	1,060	3年次 30	4,180	—	—	—	—	—	—	—

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・ 本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引（令和3年度開設用）」と同じです。
 - ・ 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
認可時 (令和元年)	<p>・将来において、留学生を受け入れる際には、日本語能力や経費支弁能力の確認、在籍管理、入学後の履修指導や生活指導などに係る適切な体制を構築すること。(農業生産学科、応用生物科学科、食品栄養学科)</p>	<p>遵守事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人留学生の日本語能力の確認については、本大学入試部にて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・出願時、出願書類（日本語）にて志望理由、入学後の学修計画、卒業後の進路目標を記載させている。また、4技能のレベルを「日本語能力認定書（本大学所定様式）」にて、日本語講師等に確認している。 ・日本語で学科試験を課すほか、面接にて日本語能力を確認している。 ○経費支弁能力については、入学後に生活状況調査票にて経済状況の確認を行ったうえで、必要に応じて各種奨学金の紹介を行っている。 ○外国人留学生の受入管理については、本大学国際交流センターにて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍管理は、同センター事務職員が毎月1回、在籍確認簿に署名をさせ、修学に係る相談及びアドバイス等を行っている。 ・入学後の履修指導・生活指導は、毎年1回、事前に留学生に生活状況調査票（卒業後の進路希望の有無、通学方法、経済状況、アルバイトの有無等）の作成に加え、学業成績表、学内奨学金申請書等を提出させたいうで、同センター運営委員（教員）及び事務職員が面接を行い、併せて日本語能力の状況確認を行っている。 	履行済	該当なし
	<p>・将来において、留学生を受け入れる際には、日本語能力や経費支弁能力の確認、在籍管理、入学後の履修指導や生活指導などに係る適切な体制を構築すること。また、外国人留学生入試で受験生に課す試験科目は、設置の趣旨と必要性の書類では「日本語、数学（予定）」だが、審査意見への対応を記載した書類では、「日本語、生物（予定）」と記載されているため、記載内容を整合すること。(食農ビジネス学科)</p>	<p>遵守事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人留学生の日本語能力の確認については、本大学入試部にて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・出願時、出願書類（日本語）にて志望理由、入学後の学修計画、卒業後の進路目標を記載させている。また、4技能のレベルを「日本語能力認定書（本大学所定様式）」にて、日本語講師等に確認している。 ・日本語で学科試験を課すほか、面接にて日本語能力を確認している。 ○経費支弁能力については、入学後に生活状況調査票にて経済状況の確認を行ったうえで、必要に応じて各種奨学金の紹介を行っている。 ○外国人留学生の受入管理については、国際交流センターにて、以下のとおり実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍管理は、同センター事務職員が毎月1回、在籍確認簿に署名をさせ、修学に係る相談及びアドバイス等を行っている。 ・入学後の履修指導・生活指導は、毎年1回、事前に留学生に生活状況調査票（卒業後の進路希望の有無・通学方法・経済状況・アルバイトの有無等）の作成に加え、学業成績表・学内奨学金申請書等を提出させたいうで、同センター運営委員（教員）及び事務職員が面接を行い、併せて日本語能力の状況確認を行っている。 <p>また、当該入試における受験科目については、設置の趣旨と必要性の書類に記載のとおり、「日本語、数学」で周知を行っている。</p>	履行済	該当なし
	<p>・専門学科・総合学科推薦入試において、アドミッション・ポリシーに掲げる化学、数学、国語の基礎知識を身に付</p>	<p>助言事項</p> <p>アドミッション・ポリシーは、各学部・学科ごとに定めており、入試ガイド、入試要項、AO入試リーフレット並びに本大学ホームページに掲載するとともに、高等学校・予備校・進学相談会等での学生募集活動において、広く学内外に周知している。</p> <p>そのうえで、入学志願者に対し当該入試の出願資格、</p>	履行済	該当なし

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画																																							
	<p>けていることについては、「出身学校の調査書」等により総合的に判断するとしていることについて、入学志願者に明確に示すことが望ましい。(食品栄養学科)</p>	<p>選考方法等として、入試要項、入試ガイド等の各種印刷物および本大学ホームページにて周知を行っている。</p>																																								
	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(農業生産学科、食品栄養学科、食農ビジネス学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>学校法人常翔学園就業規則において定年退職年齢を満64歳と定めている。64歳を超える者に対しては、「学校法人常翔学園 特任教員規定」により、満70歳を超えない期間まで特任教員(専任教員)として採用することができることから、本規定を適用し対応する。</p> <p>当該学科の教員組織の将来構想は、以下の方針により教員配置計画を進めていく。</p> <p>①当該学科の専任教員数(農業生産学科:15人、食品栄養学科:18人、食農ビジネス学科:12人)の水準を下回ることなく、維持または必要に応じ増員により、教育研究に支障が生じることのないよう対応する。</p> <p>②定年等により退職する教員については、手続きにおいて遺漏のないよう、学内からの補充・昇格または学外からの新規採用により、同等の職位の教員を後任として配置する。学内昇格による補充の場合は、同数の講師や助教の若手教員を新たに任用する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後、定年退職年齢未満の教員を採用する予定である。</p>																																							
	<p>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(広島国際大学 医療福祉学部 医療福祉学科)</p>	<p>助言事項</p> <p>○広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科の定員充足率について</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・入学者数は、各年度5月1日現在</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> <th>平均入学定員 超過率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>100</td> <td>305</td> <td>247</td> <td>70</td> <td>0.70</td> <td rowspan="4">0.60</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>100</td> <td>230</td> <td>184</td> <td>56</td> <td>0.56</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>100</td> <td>251</td> <td>194</td> <td>66</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 (平成31年度)</td> <td>100</td> <td>216</td> <td>189</td> <td>51</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td colspan="6">学生募集停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学部においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている。平成30年度以降は「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。</p> <p>具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。</p> <p>なお、本学部については、令和2年4月に学生募集を停止し、既存の学科を含めた1学部4学科(健康科学部:医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科)構成への改組を行った。</p> <p style="text-align: right;">以上(2)</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	平均入学定員 超過率(倍)	平成28年度	100	305	247	70	0.70	0.60	平成29年度	100	230	184	56	0.56	平成30年度	100	251	194	66	0.66	令和元年度 (平成31年度)	100	216	189	51	0.51	令和2年度	学生募集停止						<p>履行済</p> <p>該当なし</p>
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	平均入学定員 超過率(倍)																																				
平成28年度	100	305	247	70	0.70	0.60																																				
平成29年度	100	230	184	56	0.56																																					
平成30年度	100	251	194	66	0.66																																					
令和元年度 (平成31年度)	100	216	189	51	0.51																																					
令和2年度	学生募集停止																																									

- (注) ・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<農学部 食農ビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>1) 入学者選抜の概要 入学者選抜の多様化を図るため、次の選抜を取り入れ、農学部で学ぶに相応しい学生を選抜できるよう計画する。なお、開設初年度の入学者選抜については、認可時期の関係で一部の選抜は実施しない。</p> <p>①特別推薦入試(指定校推薦、内部推薦、高大連携協定校推薦) ②公募制推薦入試 ③一般入試 ④大学入試センター試験利用入試 ⑤専門学科・総合学科推薦入試 ⑥外国人留学生入試</p>	<p>1) 入学者選抜の概要 開設2年目については、以下の入学者選抜を追加する。</p> <p>①総合型選抜AO入試 ②帰国生徒入試 ③社会人入試 ④外国人留学生入試(開設初年度は、認可時期の関係により未実施)</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制 摂南大学FD委員会及び農学部FD委員会</p> <p>a 委員会の設置状況 教員の教育活動の質的向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、授業内容と授業方法の改善を図ることを目的として、全学組織として摂南大学FD委員会を設置しているほか、令和2年4月に農学部FD委員会を設置した。 (「摂南大学FD委員会規定」については、別紙1を参照)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 農学部FD委員会は各学科専任教員1人(計4人)で構成している。 全学組織である「摂南大学FD委員会」には、「摂南大学FD委員会規定」に基づき、年間9回程度開催している。農学部については、令和2年4月より構成員として2人の委員を選出している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 「摂南大学FD委員会規定」に基づき、教務委員会と連携を図りながら、以下の事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業改善のための基本方針および実施体制に関すること 2. 授業アンケートの実施に関すること 3. 教授方法等の改善のための支援に関すること 4. 各学部および各研究科が行うFDの支援に関すること 5. FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等に関すること 6. その他学長が諮問した事項に関すること <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 教育研究に関する教員の資質維持向上を図るため、上記①実施体制(項目c:委員会の審議事項等)に基づいて実施する。</p> <p>b 実施方法 内容に即し、担当の運営委員会がそれぞれ企画・運営を行う。農学部教授会・学科会議および</p>
--

Eメール・ホームページ等により教職員全員に周知し、できるだけ多くの教員が参加できるように配慮する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修会は、農学部全教員を対象として実施予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施予定であるFD活動や授業アンケート、FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等の結果を踏まえて、授業改善に反映していくとともに、教育・研究に関する教員の資質維持向上を図るための体制づくりを推進する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・令和2年度前期・後期授業の各第13～14週目を予定
- ・参加人数：全教員（兼任含む）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・全学FDは、本大学ホームページの教職員専用ページに公開する。
- ・学生は自らが受講した科目のみアンケート結果を閲覧することができる。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

○摂南大学FD委員会規定

2004年1月13日
学園280

(趣旨)

第1条 この規定は、摂南大学学則第8条第1項および組織規定第72条第1項に定める摂南大学FD委員会(以下「委員会」という)の構成、審議事項に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 委員会は、本学教員の教育活動の質的向上・能力開発(ファカルティ・ディベロップメント、以下「FD」という)に関して恒常的に検討を行い、学部および大学院の授業内容と授業方法の改善を図ることを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

- イ 教務部長
- ロ 教育イノベーションセンター長
- ハ 各学部から選出された者 2名
- ニ その他必要に応じて学長が指名した者

2 前項ハ号の委員には、各学部の学科長および大学院担当教員をそれぞれ1名以上含めるものとする。

(委員の任期)

第4条 前条イ号およびロ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条ハ号の委員の任期は1年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員以外の出席)

第5条 議長は、必要に応じ委員以外の者を出席させることができる。

(審議事項)

第6条 委員会は、学長の諮問に応じて、各学部・研究科と連絡調整するとともに、教務委員会と連携を図りながら、つぎの各号に掲げる事項を審議する。

- イ 授業改善のための基本方針および実施体制に関すること
- ロ 授業アンケートの実施に関すること
- ハ 教授方法等の改善のための支援に関すること
- ニ 各学部および各研究科が行うFDの支援に関すること
- ホ FD活動の推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等に関すること
- ヘ その他学長が諮問した事項に関すること

(委員長その他職務)

第7条 委員会に、委員長1名および副委員長若干名を置く。

2 委員長は、教務部長をもって充て、副委員長は、委員の中から委員長の意見を聴いて学長が任命する。

3 委員長は、学長の指揮に従い、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

(定足数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

(学長への報告)

第9条 委員長は、審議の経過および結果について議事録の写しを添えて、速やかに学長に報告しなければならない。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、教務部教務課で取り扱う。

(規定の改廃)

第11条 この規定の改廃は、大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長の承認を得て、理事長が行う。

付 則

1 この規定は、2004年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2020年4月1日から施行する。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

農学部は、「総合科学としての農学を支える広範な基礎科学に関する知識・技能をもって、「農」「食」「栄養」に関する社会的諸課題を自ら発見し、主体的に解決する人間性豊かな専門職業人を養成」を目的として設置した。完成年度（令和5年度）に向けて、設置の趣旨・目的の達成を目指す。

各学科の設置の目的（養成する人材像）は以下のとおりである。

＜農業生産学科＞

農業生産学科は、「生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究し、環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、および新技術の開発・普及に必要な知識・技術を身につけ社会に貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

＜応用生物科学科＞

応用生物科学科は、「生物・生命の諸現象とその背後にある原理とメカニズムを、分子から個体、集団、生態系を含む視点で深く学び、身につけた広範な知識を基に、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸課題の解決に貢献できる、創造力の豊かな人材を養成」を目的として設置した。

＜食品栄養学科＞

食品栄養学科は、「農学の学びを基盤として、食のプロセス（農産物の生産から加工・流通・消費まで）を体系的に理解し、食・栄養・健康・医療・食育の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

＜食農ビジネス学科＞

食農ビジネス学科は、農業や食料、食品産業に関する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に関する社会経済的な諸課題の解決に向けて、それらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成」を目的として設置した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和4年6月 公表予定

b 公表方法

大学のホームページ上に公開（令和4年6月予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成28年度に、財団法人日本高等教育評価機構で大学機関別認証評価を受審し、平成29年3月に適合の認定を受けた。

今回は、令和5年度に同機構による認証評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [(調査結果公表後1ヶ月以内) ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [(ウェブサイトへの掲載) ・ その他 ()]

《 a で「無」の場合》

d 公表しない理由期

[]

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。